

1. 件名：「泊発電所3号炉の地震等に係る新規制基準適合性審査に関する事業者ヒアリング（170）」

2. 日時：令和5年9月13日(水) 16時00分～18時10分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、佐口上席安全審査官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専門職、松末技術参与

北海道電力株式会社：松村執行役員 他9名

三菱重工業株式会社 2名

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

<<本年9月8日に受取済み>>

- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ)(水位上昇側に係るコメント回答)
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波に関するコメント回答(地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ)(水位上昇側に係るコメント回答)(補足説明資料)
- ・ 泊発電所3号炉 基準津波「地震に伴う津波と地震以外の要因に伴う津波の組合せ」に係る検討方針

時間	自動文字起こし結果
0:00:11	規制庁谷です。ヒアリングを始めます本日のヒアリングとしては、泊発電所 3 号炉基準津波に関するコメント回答ということなんですけれども、
0:00:22	内容としては地震に伴う津波と、
0:00:25	地震以外の要因に伴う津波の組み合わせと。ただし、このコメント回答が全部かという全部じゃなくて、今日は、水位上昇側に限った説明を受けると。
0:00:38	ということで聞いています。
0:00:43	資料としては、
0:00:45	A4 の基準津波の検討方針という。
0:00:49	紙と、あとはいつものパワーポイントの資料が、
0:00:53	2 点あるということで 9 月 8 日に受け取ってる資料を用いて行います。
0:00:59	まず資料の方ですね、前回からの
0:01:04	修正点を主に修正点、変更点主にですね説明していただけたらと思いますよろしくお願いします。
0:01:13	はい。北海道電力の松村です。本日のヒアリングよろしくお願いいたします。
0:01:18	今、谷さんからありました通り今日は、
0:01:21	津波の時、水位上昇側に関わるコメント回答の主に修正点、それから、
0:01:28	下降側の方針について、
0:01:31	説明させていただきたいと思います
0:01:34	説明はアオキからで、10 分程度。
0:01:36	予定してございますよろしくお願いいたします。
0:01:40	北海道電力の青木です。これはパワーポイントの資料を用いて前回 8 月 23 日に説明させていただいておりますのでそこからの変更点を主に説明させていただきます。
0:01:51	当早速ですが、
0:01:53	6 ページから 9 ページにかけてが、今回のコメント回答の主なポイントになる重要なところであると考えておりますのでこの辺りを修正いたしました。
0:02:04	ですね 6 ページから 9 ページにかけてを主に説明させていただきます
0:02:08	ではまず 6 ページからお願いいたします。
0:02:13	6 ページでは、こちらの 1 枚というところで、泊発電所の波源の特徴の上昇側についてまとめております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	具体的な特徴というところで三つの矢羽根をテキストボックスの中で書いておまして、
0:02:26	こちらの内容自体についてはこれまでの中で何回か説明しておりますので詳細は割愛させていただきます。
0:02:32	そのうち重要なところというところで、三つ目の矢羽根というところの種が気になりますが、
0:02:38	陸上地すべりの川白の第一波のピークは、地震に伴う津波の第一波と2羽のピークが重なって組み合わせの評価のが水位が高くなるといった特徴がございます。
0:02:50	7ページのところで、組み合わせ評価のこれまでの検討経緯についてまとめております。
0:02:56	遠矢。7ページの一つ目のポチで、地震に伴う津波とカワセらの組み合わせ評価においては先行サイトの実績も踏まえ、泊発電所においても、地震津波の最大ケースと、
0:03:08	川白の組み合わせ評価を実施いたしました。
0:03:11	投資家止水加古川で選定された波源の組み合わせ評価結果が、水位上昇側の最大ケースになりまず波源の入れ替わりが生じたケースが多くございました。
0:03:22	とこの波源の入れ替わりについては泊発電所の波源の特徴により生じたと考えております
0:03:28	その具体的な内容というところで、水位上昇側の最大ケースとして選定された波源のピークとカワセらのピークは重ならなかった一方、対加古側の最大ケースとして選定された波源の、
0:03:40	ピークはカワハラと重なることで波源の入れ替わりが生じたものと考えております。
0:03:45	これらを踏まえますと、組み合わせ評価を実施するにあたっては、
0:03:49	地震に伴う津波のピークと川白のピークは重なるかどうかというところが、
0:03:54	この重なるかどうかを考慮する必要があるというところを確認しております。
0:04:00	これらの特徴と経緯を踏まえた基本方針というところを8ページでまとめております
0:04:07	当組み合わせ評価においては地震に伴う津波の水位、
0:04:11	藤江藤地震に伴う津波が頭のピークと重なるかどうか、この二つが結果に影響を与えると考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:19	この治水に着目した①の組み合わせ評価と②の組み合わせ評価。
0:04:25	またピークが重なるかどうかに着目した③の組み合わせ評価のこれ三つの組合評価を実施することで、組み合わせ評価の水位が高くなる可能性があると考えております。
0:04:35	この①の組み合わせ評価については、地震に伴う津波の最大ケースの組み合わせ評価というものでして、組み合わせ前において水位が高い波源を対象にした評価。
0:04:46	でありますので組み合わせ後においても水位が高くなる可能性があると考えております。
0:04:51	続いて②のピークの水位が高い波源の位相変動を考慮した組み合わせ評価についてですが、こちらは、さっきと同様に組み合わせ前において水位が高いはげ。
0:05:02	であります、①から、さらに頭での重なりが大きくなることによって組み合わせ評価の水位が高くなる可能性があります。
0:05:10	最後③、ピークが重なる波源の組み合わせ評価。
0:05:14	こちらは、名前の通り、川白と重なることによって、組み合わせ評価の最大ケースになる。
0:05:20	可能性が最も高いと考えております。
0:05:23	ここで①から③以外の組み合わせ評価も考えるんですが、それらピークが重ならない波源であったりピークの水位が低い波源の組み合わせ評価になりますので、
0:05:34	この①から③と比較して水位が高くなることはないと考えられますので組み合わせ評価の最大ケースを選ぶにあたっては、①から③の検討で網羅的に検討ができていうふうと考えております。
0:05:49	この内容を検討フローに落としたものが9ページになっております
0:05:54	と8ページの基本方針を踏まえ、①から③の組み合わせ評価の、
0:05:59	最大ケースを組み合わせ評価の最大ケースに選ぶというフローにしております。
0:06:04	なお①と②の評価についてはこれまでの審査会合で説明している内容でありますので、今回の指摘事項の回答というところは③の組み合わせ評価というところで主に実施しているところになり、
0:06:18	ここまでが主な説明内容でして、その他の変更点というところで、
0:06:23	70ページをお願いいたします
0:06:35	70ページ以降で、3章の陸上地すべり川白の第2は移行の影響についてまとめたものになっております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:43	このうち前回からの変更点というところで、(1)検討の位置付けという説を追加しまして、検討する前にどういった検討かという位置付けを先に整理する構成に変更しております
0:06:56	その内容ですが、72 ページ。
0:06:59	のところで、まずは川白の葉系を用いて、
0:07:03	川白の一般の影響が大きいので 2 羽以降の検討については、影響が小さいというところを、72 ページでまとめております
0:07:11	内容については前回と一緒にあります
0:07:14	それに加えて 73 ページのところで、
0:07:22	すいませんちょっと駆け足でしたが 70 ページをお願いします。
0:07:36	すいません。7 ページから 9、6 ページから 9 ページのところ、説明概要のところをまとめております
0:07:45	はい。
0:07:46	そのあと、
0:07:47	ちょっと前回からの差分というところで、ちょっと中身は変わってしまうんですが、ページ飛ばしまして 70 ページの 2 は移行の影響について、大きい変更点というところで、こちらを説明。
0:07:59	しようと考えております
0:08:18	北海道電力の奥寺です。
0:08:21	概要というところが主に
0:08:24	7、7、
0:08:26	から、
0:08:28	9 というところが、組み合わせ評価の上昇側の概要と、町概要というところでそこをまず説明いたしました。
0:08:39	そして、ちょっと 4 ページを見ていただきたいんですけども、
0:08:44	市が今、6 ページから 9 ページの
0:08:48	1 章がです。
0:08:49	本日の説明会を
0:08:51	これは主に、
0:08:53	2 章の概要を説明したものであります。
0:08:58	一方で、2 班以降の影響というのは少し目先が違うんですけども、
0:09:04	2 は 3 は 4 は、川白の
0:09:07	影響を、こんなもんだっていうところを、少し違う説明になるんで
0:09:12	もう、
0:09:13	2 章の 1 章でもって 2 章の概要を説明した上で、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:18	今 3 章の
0:09:21	前回との違いを説明しようと
0:09:24	で、
0:09:25	1 から 3 に
0:09:27	以上です
0:09:50	北海道電力の青木です。ちょっと説明。
0:09:53	所飛ばしてしまって恐縮なんですが前回からの差分というところで、ちょっと説明の流れはあまり。
0:10:00	リンク取れてないところですが、変わってるところっていう差分を示すっていう目的で、
0:10:06	ちょっと 70 ページから説明させていただきたいと考えております
0:10:12	オクデラです。
0:10:14	ですね、今のご質問に対しては、
0:10:18	6 ページから 9 ページというのが今の 11 ページで言いますところの、
0:10:23	33-1 の、
0:10:28	20 ページからの、すいません、10、12 ページからの概要でございました。
0:10:33	33 のNo.33-2 については、
0:10:39	70 ページから説明が始まるということで 70 ページに飛びました。
0:10:44	そのあたりの、前回との差分をアオキの方が説明しようとしたということでございま。
0:10:49	以上です
0:11:26	北海道電力奥寺です。今の言葉に対してですが、我々の説明として、
0:11:32	水位上昇側の、
0:11:34	コメント回答について説明していたものが、
0:11:39	急に違うコメント回答にこんだということでその説明がなかった。
0:11:43	ので、非常にわかりづらいというお言葉だと思っております
0:11:47	注意して説明していきたいと。
0:11:50	失礼しました以上です。
0:11:55	北海道電力の青木です。
0:11:57	ちょっと失礼いたしました。
0:12:00	説明概要というところで、
0:12:03	11 ページから以降の、
0:12:07	19 ページにかけてが、市、町の

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:12:11	まとめになっておりまして、ここの内容については大きな変更点はないというふうに考えておりますので、その説明はちょっと飛ばして先の章から説明させていただきます
0:12:23	その中で 2 章の評価、
0:12:26	ていうところについては、
0:12:29	江藤、主な変更点というところは先に説明しているところですのでそれに合わせた修正を行っております
0:12:35	重要なところっていうところで参照の 70 ページから、
0:12:40	説明させていただきます。
0:12:44	70 ページの 3 章の変更点というところで、
0:12:48	さっきの説明ともかぶるんですが、(1)の検討の位置付けという説を追加しております。
0:12:55	72 ページ 73 ページで、川白の葉系の整理と地震津波のは形の整理を、
0:13:03	最初のイ、
0:13:04	衛藤入口の検討の位置付けというところで整理しております。
0:13:08	73 ページのところでは地震津波のは形を確認した結果というところをさ、テキストボックスで書いておりまして、地震津波と川白の移送推移を踏まえますと、影響と、
0:13:20	影響の大きい考えられる組み合わせについては、川白の 2 羽と地震津波の 2 羽の組み合わせ、
0:13:27	と川白の 4 羽と地震津波の 4 班の組み合わせ、これらの組み合わせの評価が大きいと考えております。
0:13:33	重なるかどうかの詳細な検討の判定については後段の評価で実施しております。
0:13:39	また川白アノさんは地震津波の山は、については重なる可能性があるんですが、こちらの 3 羽の水については 2 ハタ 4 羽と比べて水位が低いため、
0:13:49	その検討の対象としていないというふうに、前回から変更をかけております
0:13:54	74 ページが、検討の位置付けをまとめたものになっておりまして、矢印の下側がこの結論になっております。
0:14:03	検討の位置付けにおける結論となっております。川白一般のピークの推移については、すべての評価項目、地形モデルにおいて最大であるた

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	め、一般を対象とした組み合わせ評価結果より最大ケースが選定できると考えておりますが、
0:14:18	一部のケースにおいて日本のピークの推移と一般のピークは次の差が大きくない状況もあります。これを踏まえまして念のために廃坑として影響が大きいと考えられるものというところで、2羽と2羽の組み合わせ、
0:14:32	4羽と4羽の組み合わせについて確認するというところを入口で整理しております。
0:14:38	そのため前回の資料では3羽と3羽組み合わせも結果を掲載しておりましたがその内容については、今回の資料から除いたものになっております。
0:14:48	3羽と3班の組み合わせを除いたものがこれ以降の3章のところの変更点になります。
0:14:55	そこから続きまして、
0:14:58	4、3章飛ばしまして88ページが交渉の説明になっております。
0:15:06	こちらの変更点90ページと91ページをお願いします
0:15:15	前回の説明の際には、90ページと91ページ、この二つのページのものを1ページでまとめておりましたが、
0:15:22	と内容の記載のテキスト充実化を図るというところで2ページに分けて記載を変更しております。
0:15:29	具体的に追記したところというところで、90ページの二つ目の矢羽根。
0:15:34	というところで、
0:15:37	基準津波選定の考え方というところで、基準津波の策定後に実施する施設、津波防護施設や浸水防止設備等の影響評価においては評価値の大きい波源を選定することが、
0:15:49	安全側の評価となるため、地形モデルごとの最大ケースを敷地に対して大きな影響を及ぼす波源に選定するという考え方を追記いたしました。
0:16:00	当上昇側に関わる説明については、こちらのパワーポイントで変更点というところで説明させていただきました。
0:16:07	続きまして、
0:16:09	A4ワードの縦の資料というところで、検討方針についてご説明させていただきます
0:16:16	このうち、1ページ目2ページ目に上昇側、まとめておりますが、こちらの内容については、先ほどのパワーポイントの説明とちよ熟しますので、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:16:25	こちらは飛ばさせていただきます。
0:16:29	と3ページ目に水加古川の検討方針を記載しております
0:16:33	とまず(1)前提条件の変更というところで、
0:16:38	対津波設計の施設評価では、水位下降側の時間評価として、安全側の評価となるように保守性を考慮した時間を用いることから、基準津波の評価でも保守性を考慮した時間を評価項目に追加しまして、
0:16:50	この最大ケースを基準津波に選定する方針に変更しております。
0:16:55	(2)以降から指摘事項に対する検討というところで、最初に方針を整理しております
0:17:01	当スイカコガの評価として、位相の変動が保守性を考慮した時間に及ぼす影響が確認できていないため、まずは上昇側の評価として実施した組み合わせ評価結果。
0:17:11	この中に一層の変動を考慮した組み合わせ評価結果も含んでおります。
0:17:15	これより保守性を考慮した時間の最大ケースをまずは選定すると。
0:17:21	その上で選定した保守性を考慮者時間の最大ケースを対象に、位相の変動が保守性を考慮した時間に及ぼす影響を分析します
0:17:29	その分析結果から、位相の変動が保守性を考慮した時間に及ぼす影響がないこと。
0:17:35	算出結果に影響しないというところを示すことで、組み合わせ後の保守性を考慮した時間に影響の大きい波源が選定できていることを確認するという方針にしております。
0:17:46	具体的な検討方法(3)に書いております
0:17:50	こちら保守性を考慮した時間の最大ケースを対象に、位相に直接影響を与える組み合わせの時間差
0:17:57	のパラメーターの変動を考慮しまして、水位時刻歴はKを比較し、位相の変動が保守性フォール者時間に及ぼす影響を分析していきます。
0:18:06	具体的には、組み合わせの時間差を±30秒変動させて、影響を確認することを考えております
0:18:13	(4)は検討結果の見込みになっております
0:18:17	組み合わせ時間差の変動を考慮することによって、水位時刻歴は経営に大きな影響がなく、また保守性を高齢者時間の算出結果に影響しないことを確認できるものと考えております
0:18:29	その結果から、組み合わせ後の保守施行者時間に影響の大きい波源が選定できていることを示すというところを考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:37	ちょっと駆け足でしたが説明は以上とさせていただきます。
0:18:45	1ターンで説明ありがとうございました。
0:18:48	確認に入っていこうと思うんですけども、何か最後にこのワードの、
0:18:53	ワードというか、A4 縦、
0:18:56	ヤタ上昇側この資料の中から、資料の中で確認していけばいいかなと思うんですけど、加古川ですねこれ。
0:19:07	今僕も、
0:19:09	これ、
0:19:10	8日に受け取って読んでみたんですけども、
0:19:14	これはさすがにね、両括弧1はねえ、やってることは、
0:19:19	何となくイメージできるんですけど、
0:19:22	両括弧234っていうのがね。
0:19:25	もう何か想像
0:19:27	できないんですよ、この文字だけ。
0:19:30	書いてて、
0:19:35	なぜ、例えばですよ、両括弧2で、
0:19:38	何で位相の変動が水位上昇側の評価として、水位上昇側の評価としてそういったものをやっていくんかとかですね。
0:19:48	これ、
0:19:50	見てもわからないと思うしこれなんか、県、両括弧2検討方針と言って書きながら、
0:19:57	何かやったら、やることを書いてる検討方法みたいな感じにもなってるのかなと思って。
0:20:06	要するに何を、何を目的に、
0:20:10	どうやっていくのかっていうのがよくわからなくて、
0:20:15	何ていうんすかね両括弧2っていうのは一言で言うと、
0:20:20	何か分析しますっていうのをこう、
0:20:23	何か、何を
0:20:25	はっきりこうやるっていうわけじゃないんだけど、
0:20:28	今、今から分析しますっていうことを言いたいんですかね、何か校了括弧にはもう少しか、かみ砕いて言うと、どういうことを書いてるか教えてもらえませんか。
0:20:37	北海道電力の奥寺でございます。
0:20:41	今、目的とする、今、保守性を考慮した時間という言葉遣いで
0:20:50	いまして、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:52	何か何かの方法で保守性を考慮した時間というものを算出しなければ ならない中、
0:20:58	貯留堰というものを下回る影響ってという観点。
0:21:04	ある程度推移の大きいものというものを、
0:21:07	目安にして、その時間というのを算定しながら、影響の大きいものを探 っていくということをやらねばならない
0:21:17	そういう意味で言いますと、先ほど私の口から、水位上昇、上昇とい いますか下降も含めて水位変動の大きいものってというのは、
0:21:27	今までの分析結果から、一対一ではないんですけども、
0:21:31	貯留堰を下回るという意味では影響の大きいものの一つだと考えており ますので、まずは、SE上昇側というよりは水位変動の、
0:21:41	大きいものの評価として何らかの数字を出しますと、そこで出てきたあ る程度大きい数字というものが、感度分析をしていったときに、
0:21:51	大きい変動があるのかないのかという観点で、確認を行って、出てきた 答えが変動がないものを示していこうと。
0:22:00	そういうような方針をやっていくと。
0:22:03	いうところを、
0:22:04	ちょっとわかりづらかったかもしれないですけども、検討方針として書 かせていただきました。
0:22:10	補足は以上です。
0:22:21	井谷です。
0:22:24	これあれですよ。
0:22:26	何か、
0:22:29	あんまり細かいこと言うつもりなんですけど両括弧1でこんな方向、ほ の、こんな
0:22:36	評価方向、うん。
0:22:38	低下時間っていうのを変えました。
0:22:41	というのが両括弧1であって、
0:22:44	それが妥当なのか。
0:22:46	それで組み合わせたのが妥当なのかを、
0:22:50	妥当な波源設定ができているのかを説明するっていうのが、
0:22:54	一番最初の目的であるんですよ。
0:22:57	で、
0:23:00	その波源選定が妥当かというときに、
0:23:05	位相の変動がっていう話をしなければ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:10	その説明ができないから、そういう話をし、
0:23:16	それとも、
0:23:17	過去のコメントがこうなってるから、
0:23:23	古川も、
0:23:24	移送の変動を考慮する必要がないと。
0:23:29	いうことの過去のコメントがあるからこれを書き始めてる。
0:23:33	ということなんですかね
0:23:36	何か。
0:23:37	加古川の取り方変えましたってということと、
0:23:42	それ、それでも、
0:23:44	何か問題があって、
0:23:46	こういうことを説明しなければいけないっていう話との、
0:23:51	この流れっていうのがよく、
0:23:53	わからなくて、
0:23:57	これはただ単に効果編。
0:24:00	取り方変えても、指摘事項は残っていますんでその指摘事項に対して 答え。
0:24:07	ということ。
0:24:08	こう言ってる。
0:24:13	当北海道電力の青木です。(1)の保守性を考慮した時間に変更したっ ていうところは、同じ認識図れていると思ってます。そこから保守性を考 慮した時間に対して一層の変動をどうして見るの。
0:24:27	ていうところが聞かれているところかなと考えておりまして、その答えと いうところが大きく二つあると思っております、
0:24:36	大きい目的っていうところは、保守性を考慮した時間が、
0:24:40	泊発電所に対して一番厳しいケースとして、その最大ケースを選ぶ必要 があるというところを示すのが大きい目的と考えております。
0:24:49	下降側に対して一番厳しい波源が選んでいるかどうかということが一 番大きい目的と考えております。それに対して今、移送の変動がどうい った影響を及ぼすのかっていうところが今分析できていない状況。
0:25:02	と考えておりますので、その分析した上で、それが一番厳しいは下が、 今、
0:25:08	選んだ波源として選ぶ。
0:25:10	その選ぼうとしてる波源として一番厳しい波源だっっていうところを示す必 要があるというところを考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:16	これについては分析できていないっていうところプラス、指摘事項として、その位相の変動について、どういった影響があるかっていうところ、直接的に保守性を考慮した時間に対して、
0:25:27	コメントをされたものではないんですけども、その最大は下選ぶ上で一層の変動について整理しておいた方が良さだろうというところで整理したものになっております。
0:25:38	こちらは回答というところです。以上です。
0:25:44	はい、谷です。
0:25:47	いいのかな。それを、上昇側で評価したのを使って分析しましょうっていうことを言ってるんですね。
0:25:58	うん。
0:25:59	過去、下降側では、
0:26:01	分析はできないんですかコガワダって下降側で、
0:26:08	最大になるようなものを選んだんですね。
0:26:11	加工加工側の。
0:26:13	加古。
0:26:14	この保守性を考慮した時間が最大になるようなものをまず選んだんですね。
0:26:18	それを組み合わせるものが最大であるのかどうなのかっていうときに、
0:26:27	何で下降側でこうやって、その順番通りに選んだものを置いといて、
0:26:33	上昇側の話になるのかとかですね、ちょっと何か、
0:26:37	いずれにしてもねこれね。
0:26:40	今僕が幾ら聞いてもね。
0:26:42	わからないかなと思ってて、
0:26:48	うん。
0:26:52	ひょっとしたら、ちょっとポンチみたいなのがあったらわかるのかもしれないんですけども、
0:26:58	何かこの辺、僕以外の強い皆様、
0:27:04	何かこれを
0:27:15	規制庁鈴木です。
0:27:16	なんで。うん。ちょっと谷さんと私の推理が、
0:27:20	違うのかもしれない。
0:27:22	私なりに水利を働かせて、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:27:26	なんですけど一応最終的に加古川で最も影響大きい波源が選定できるかというのは一応大目標というのは、多分そこは大丈夫だと思うんですけど。
0:27:36	そのあとどうですかね。そうすると
0:27:39	そのために、
0:27:41	何が必要かになってくると、まずだから河港側の津波の特徴は系の特徴とか、
0:27:49	ていうところが多分オクで、
0:27:52	頭の中にはあるんだと思う。
0:27:54	だから、
0:27:57	考えなきゃいけないのは南海創なんだと。
0:28:01	まずなんかそこがなくて、
0:28:02	もともと、
0:28:04	多分課題としてはだから今までの保守性を考慮する時間の前のやつですよ、一部水位が回復するとか、何か、
0:28:11	パルスが何とか、
0:28:12	考慮するとか、
0:28:14	ああいうようなものを多分続けていくと。
0:28:18	多分具合が悪いというか多分なかなかかなり複雑な検討になるんで、多分そこ割り切って何か課題があるから、そこを割り切ってこの保守性を考慮した時間、設計側の方とに合わせるような形で、
0:28:30	かなりがばっとトリマイ
0:28:31	そうすると、多分問題の一部を解消されるんだと。
0:28:36	いやそうすると、次何しなきゃいけないかっていうと多分単独の評価を一旦やりなお立ち返ってやり直さなきゃいけない。
0:28:43	多分その単独の評価立ち返ってやって、その他は形を見て、
0:28:48	そうすると、
0:28:49	こういう特徴があるんで、
0:28:51	ちょっとあと残りやらなきゃいけないのはこの移送の変動なんですねってことなのかなという。
0:28:58	想像はしたんですけど、
0:29:02	そうするとこの日ソウノ変動をコールって言った時にどこから手をつけましょうかという、今やられているのが、ちょっと何か上昇側の評価っていう、本当にこのやり方がいいのかっていうのあるんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:29:13	一応上昇側の方ですすでにある程度検討してるんで、それを何か1回借りてきてですね、
0:29:20	加古川でまだやってないので、借りてきて、一応上昇が
0:29:24	評価結果より一番なんか最大のケースをとりあえず選びました。これが本のCの最大かわかんないわけですけど、
0:29:31	うん。
0:29:31	ちょっとそこで上昇派のものを何か変えてきてやるのがいいのかっていうところはちょっとこの紙からは読み取れないんですけど、
0:29:39	何か、ナカイソウノ変動でこういう検討しますの前に、何かもうちょっと前提のところの分析っていうんすかね。
0:29:46	そこが何かで多分欠けているから、急に何か保守性を考慮した時間でやりました。
0:29:53	で、ナカイソウノ変動は上ショウガンものを借りて、とりあえず検討して、
0:29:57	その範囲内では何か影響がないのを確認しました。なんでそれで十分な等だろうかとかっていう、ここでまた疑問が出てき
0:30:04	て、3するとさらに何か±30秒とこれ何ですかっていうふうになってくるんで、
0:30:10	何で±洗浄させた影響確認すればそれで、
0:30:13	ゴールにたどり着けるのか。
0:30:16	もう少しその多分前提の分析の部分が、もしかしたら、この担当の加茂実は書いてないけど、社内では共通化されているの。
0:30:26	けど書いてないのかわかりませんが、多分そこら辺がないからいきなりこれやりますって時に何でそれやれば十分なんだって。
0:30:33	いう話になるのかなと。
0:30:35	ちょっとこのペラペラがミイ1枚。
0:30:39	シナリの推理した結果ですけど、
0:30:42	多分これ多分読み手によって全然多分印象が違うのかもしれないんで、
0:30:46	送った他の印象があるかもしれない。
0:30:54	すいません谷ですアノズキさんにちょっと解説いただいて、いや僕もですねこれなにが下降側で問題なのかとかいうのを、今のその下降側の評価結果を持ってきて、何かをこうちゃんと、
0:31:09	言った上でそれを説明するためにこういうことやるんですって言ってもらわないと、全くこう繋がってこない感じはしますね。
0:31:20	やっぱり何かこういう検討をしないと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:31:25	加古川、
0:31:26	は、
0:31:27	何か説明できないってことなんですか。
0:31:31	今の励んで。
0:31:34	最大、
0:31:35	ちゃんと影響が大きい最大のケースが漏れなく選ばれてますっていう説明できない。
0:31:41	からこういうことをやるってことで、
0:31:48	当北海道電力の青木です。
0:31:50	導水下降側の選び方っていうところ、ちょっと前回の説明ともかぶってしまうところがあるんですが、
0:31:57	一般的傾向というところを使って、水位上昇量推移下降量に対して厳しい波源っていうのが、保守性を考慮した時間、下降側の時間に対しても厳しい波源であるだろうと。
0:32:10	いうもくろみを立てて、加古川に対して最大ケースを選ぶというところを説明したところが前回でした。
0:32:16	一方その結果を見てきますと、一対一で、ただSE下降量に対して一番厳しい波源が保守性高齢者時間に対して一番厳しい波源か。
0:32:26	っていうところはちょっと違ったというところが前回の、
0:32:30	衛藤中出、確認できたところかなと思っております。
0:32:34	Dで物が一方、水位上昇側の中で、移送の変動を考慮した組み合わせ評価っていうところをやっていった中で、一番厳しいは下。
0:32:44	っていうのが、やった結果なんですけれども、
0:32:47	現状における保守性降車時間の一番厳しいケースっていうところが出てきたところになっております。それはなぜ選ばれたかっていうところがちょっと説明できてない。
0:32:57	ところかなというふうに我々考えておましてその中でまずは、
0:33:02	移送の変動っていうところの影響を確認しようというところで、
0:33:07	江藤と30秒がいいかどうかはまた別の議論なんですけど、実際ずらしてどういう影響があるかっていうところを確認して、
0:33:14	それが、
0:33:16	うん。最大ケースを選ぶ上で重要なものかどうかっていうところを整理しようというところをこの方針でうたってるというふうに考えております。
0:33:25	以上です。
0:33:30	はい、丹です。まず何て言うのかな

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:33:34	何で上昇側で選ばれてるものが、下降側のこん最大時間を見たときに、チャンピオンなるんだっていう分析からまず、
0:33:43	始めるんだというようなそういうことを言ってるってことなんですかね。
0:33:57	規制庁の名倉です。
0:34:00	まずちょっと、
0:34:02	整えた方がいいかなって思ったのは、
0:34:05	まずキーワードとして保守性を考慮した時間っていうのはやめた方がいいというか、
0:34:13	水位下降側の時間評価の考え方を変えました。
0:34:19	ていうところで、
0:34:20	今回方法を変えたってことを説明すればよくて保守性を考慮した時間って命名する必要は多分ないだろう。
0:34:29	それであともう一つは、
0:34:31	幾つかのその方法で今までやっていた。
0:34:36	ものありますよね二つ。
0:34:38	あれはもう言及しなくていいんじゃない。
0:34:41	何も、
0:34:45	そうすると、まず、論理として、
0:34:51	水位変動量大きい波源。
0:34:53	というものを地震による波源から選びました。
0:34:57	それについて、
0:35:02	保守性を考慮した時間ってのは、まず言わないで、
0:35:05	方法を変えて、
0:35:07	波源を選び直しました。
0:35:12	その時に上昇側の組み合わせは元もあわせて、
0:35:16	やってんのかもしれないんだけど、
0:35:19	うん、それでどういうケースで結果になりましたってまず整理をした上で、
0:35:31	最大ケース。
0:35:33	を対象に、
0:35:34	考察をしてどう、どういうふうな
0:35:37	検討をやるかっていうところの説明をちょっとした方がいいかなっていう継続しました
0:35:43	組み合わせ時間差プラマイ 30 秒っていうのが、ちょっと何を意味してるかっていうのはちょっとよくわからないところは、あるんですけども、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:52	やろうとしてるものの考え方は何となく。
0:35:55	わかりますけれども、
0:35:57	それで十分かどうかということについては多分議論になるだろうなと思います。
0:36:04	ちょっとこら辺、何かこう、何か解析を、何かいろいろとやるという前に少し、
0:36:11	考え方をちゃんと整理をした方が、
0:36:15	いいんじゃないかなという気がちょっとします。場合によっては、だから解析やなくてもいいのかもしれない
0:36:20	考え方をちゃんと整理できる。
0:36:32	ナイトウ電力オクデラでございます。
0:36:34	保守性を考慮する時間という、今、名称の件についてはいただい
0:36:40	時間について評価するっていう一般的な
0:36:45	話ですのでいただいた
0:36:49	確認結果というものを踏まえて、ちょっとどのような説明の仕方が良いか
0:36:54	考えていきたいなと思います。
0:36:57	それと、今我々やろうとしていることっていうのは、
0:37:00	解析を、
0:37:02	今までやってきたことはそれなりに
0:37:07	結果として蓄積がございますので、
0:37:09	その範囲の中で、考えられることを中心に、物事を
0:37:15	説明していきたいなと考えてございます。
0:37:22	当北海道電力の青木です。
0:37:24	まとめ方というところで、
0:37:27	まず(1)の前提条件の変更っていうところはいいのかなと思っております。(2)の検討方針いく前段階っていうところで、我々が加古川として何を問題に考えてるかっていうところが、今ちょっと、
0:37:41	ことでやりとりさせた中で説明したところでここがちょっと抜けているのかなというふうに思っております。具体的には、当社として水位変動量が大きいものを、イコール、
0:37:52	加工時間に対して厳しいは下になるっていう想定のもと、検討していったんですが、ちょっとそうっていないというところが、結果で出てきたところになっておりまして、それに対してどういった分析が必要かっていうところで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:38:06	ちょっと具体的な説明を思いついていないんですが、位相の変動が影響しそうだというところがあるというところが問題になるのかなと思っていて、そこから、その変動の影響を確認していくってところ。
0:38:19	藤さん、読み物として流れがいいのかなと思ったところなんでそういった方向で検討を考えていこうと思っております
0:38:38	規制庁の名倉です。
0:38:41	何となく
0:38:43	わかりかけてきて、教えて欲しいのは、
0:38:46	前回の説明だと、
0:38:48	第2は
0:38:50	難波だ。
0:38:53	4%でしたっけ、2ハタ4%の
0:38:56	間の時間っていうのは、
0:38:58	次、地震による津波で、大体これぐらいの幅があります。
0:39:03	そこはどこのピークピークを取るのかどこを取るかによるんだけど、
0:39:08	ほぼ一定です。
0:39:09	それは、陸上地すべり海底地すべりと組み合わせた場合であったとしても、その時間はあまり変わりません。
0:39:20	というような話もあって、そこも一応ある程度理解できたつもりでいて、
0:39:26	見るとやっぱりだけどちょっと幅があって、150から200数十秒ぐらいとか幅があるんだけど、
0:39:34	そん中で今回
0:39:37	1000センチメートルぐらい、1000秒弱ぐらいのところ、
0:39:41	決まっていて、ある程度のところはとらえていると。
0:39:44	いうふうにちょっと見えんですけど、
0:39:46	そのところが実際、何ていうかな、位相の変動。
0:39:53	要は波源パターンとかそういうのをちょっと変え変えると。
0:39:57	実際この図、2はとろやっぱの間隔が少し変わるっていうことがあるということを示唆してるんですかね。青木さんの説明は、必ずしもそうでもない。
0:40:11	北海道電力の青木です。前回の面談の中で、2ハタ4班の関係性というところを聞かれておりますので、内容については今充実化図ってところになっております。我々の考えということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:40:25	この2羽と4羽の間の時間っていうところは、地震津波の単独であっても、組み合わせ評価のどちらにおいてもこの間っていうのは、概ね同じような時間体になると思ってまして。
0:40:37	その中で、断層パターンとか細かい断層パラメータ変動させてもその間は大きく変わらないというふうに考えております
0:40:44	以上です。
0:40:48	別の名倉です。
0:40:50	で、
0:40:51	その時に、なんでこの移送が評価の時間に影響するかっていう考察に至ったのかそっかここをつないだ上で、
0:41:01	位相の変動を見る必要がある。
0:41:04	ということだと思うんですけど、そこら辺の説明がですね、ちゃんとしていただければもしかしたら理解できるんじゃないかなっていうかちょっとしてきました。
0:41:14	ただ本当にそこがやる必要があるかどうかっていうのは、少し議論が必要かなというところはちょっとあるので、そこはちょっと今後、
0:41:25	もう少しちょっとイメージをですね、下降側のこういうふうにすると思うてるんですよって。
0:41:31	まずは全体系を整えて、考え方で余分な要素をちょっと、今まで時間評価の方法として、他の方法をやってきたものについてはもう、もうなしにしまして、
0:41:44	とかちょっと考え方を少し整理をした上で、こういう体系で今考えています。
0:41:51	それに対して、こういう検証がこれこれこういう理由で必要なんです。だから、ここんところに時間を今必要としてるんですよって。
0:41:59	そういう説明をちょっと1回ですね整理していただいて考え方を説明していただけると、
0:42:06	こちらもある程度見通しがつくんですけどね。
0:42:10	今日少し、青木さんに説明していただいて、何て言うのかな、
0:42:17	もしかしたらこういうことかなとか少しく、イメージできるところが少しあったので、
0:42:22	ここのところの説明を今後ちょっとしていただきたいな。
0:42:30	北海道電力の青木です。先ほどともかぶるところあるんですがまず問題提起っていうところが今抜けてるっていうところはそこを充実化したいと考えております。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:42:40	そこからその問題に対して、何で移送の変動を検討しなくてはいけないってところが疑問に持たれているところかと思しますのでその辺りわかるような形で資料を作成していきたいと考えております。以上です。
0:42:57	長名倉です。
0:42:58	ちょっと最初の方でいきなりオダ少しびっくりさせて悪かったですけど、やっぱりちょっといろいろと話を聞いてると、
0:43:08	やっぱり説明をちゃんとしていただければ理解できるところが多分あると思うので、そういったところを少しですね、説明していただいた上で方針を、
0:43:18	固めていくというところをやった方がいいかなというちょっと、
0:43:23	かそういうふうな印象でした。上昇側もそういうところはちょっとあるんですけど、
0:43:29	この辺をちょっと丁寧に、全体系とかですね、考え方を説明をちょっとしていただければと思います私からは以上。
0:43:42	北海道電力奥寺です。
0:43:44	こちらの方針を立てながら、
0:43:47	作業をある程度
0:43:49	イメージしな
0:43:50	また修正しながら、
0:43:52	ていうふうになりながら、
0:43:54	全体の作業を進めているところです。今のいただいたところを、
0:44:00	踏まえて、また方針なり、
0:44:04	にわかり、わかりづらい部分はここだったというところを、
0:44:09	今の具体的なやりとり、認識しましたので、
0:44:12	そのつもりで、作業を進めたいと思い
0:44:15	以上です。
0:44:24	規制庁スズキその通り、今のところ今のところというかちょっと補足でさっきの移送のところですね、教えてもらいたくて、その前に申し上げておくとちょっと前提条件に入るまでの、
0:44:34	いわゆるなんかパルスの話だとか、ああいう話は資料化しなくていいっていうところは今、多分
0:44:39	都合で調整して上書きしたと思しますので、当然何かいろいろ背景があって、ちょっと名前としては保守性を考慮した時間で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:44:47	だけど、そこにたどり着いたっていうところは、一応そこはスギタこととして、あまりそこに辿りそこまでを資料化して説明すると、かなり情状になるし、
0:44:57	多分今後の説明は要らない部分。
0:44:59	で、そこはそういう形でご理解いただいたと思う。
0:45:02	その上で、ナカイソウノ変動の頃だったらあれ、第2はと第4、第2版の頭に
0:45:09	頭の加工はの、
0:45:12	もし重なって、それがもう少し、第2アノ、
0:45:17	テイカのスタートがもうちょっと早くなるかもしれないし、第4%の回復がもうちょっと遅くなるかもしれないして、
0:45:23	多分その懸念だと思う
0:45:25	いう、それを懸念されて、
0:45:28	もう少しこの移送の、
0:45:29	いわゆる地震動の継続時間のずらし方でやるよりもさらにそこにソウノ変動を考慮すると、もしかしたら水位の低下のスタートが、例えば10秒20余とか何か50分かかわからない
0:45:39	早くなるかもしれないし、後の水位の回復が遅くなるような、多分前後につけたされる。
0:45:46	どうなるのかっていう多分そういうイメージですかね。
0:45:52	北海道電力奥寺です。
0:45:54	イメージは、我々が見ようと思っている、30プラマイ30秒と言いましようしてるのは、
0:46:01	感度分析に相当するものだと思ってますけれども、
0:46:05	今いただいたような華Cのものかと思ってます。
0:46:10	ただし、
0:46:11	今、時間の算定というのはこれまでも説明させていただきましたけれども、
0:46:17	不連続点みたいなものがPPマイナス4メートルであるので、そこで、
0:46:22	必ず一対一とか、必ず連続性のあるものではないということがわかっています。わかっていますので、
0:46:30	素行の部分というのを、
0:46:33	厳密評価というところでは、悩んできたところですけども、
0:46:37	そういうところも踏まえて、全体的な傾向として、大きく位相変動というものが変わるのか変わらないのかというところを、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:46:47	実証したいなということでこのような書き方とさせていただいてます
0:46:51	以上です。
0:46:54	わかりました。はい。ありがとうございます
0:47:11	ちょっとSuicaコガの話ばかりしてても、あれだし、ただ多分これは大きくまた変わってくるんだと思いますので書き方がね、
0:47:21	ちょっとこれは一旦置いておくんですけども、ただね
0:47:25	今の例えば両括弧 1 はこれでいいんだと思うって青木さん言ってますけれども、
0:47:30	ちょっと両括弧 1 の今保守性を考慮した時間っていう、
0:47:35	もうこれを、
0:47:36	これどういうもんなんだっていうのはですね言葉でちゃんと表せるようにして欲しいんですよ。具体的に言うとかいう波な、こういう時間をこうとるんですよっていうのを、
0:47:46	前とかではわかるんですけども、日本語にしたらどうなるの。
0:47:50	いうのをちょっと、こういうペーパーを作ることを考えると、何か用意はしておいてください。ここに入れるか入れないかとちょっと別の話だと思い
0:48:00	いいですか。
0:48:02	ですまず資料のホウジョウショウガンの話に移って、
0:48:06	いきたいと思えますけど、これちょっと、
0:48:08	頭ね 1 ページ 1 ページちょっと気が付いたようなこととかを言いながら、何か我々こう読んでいく中で、どういうことがこう伝わっ。
0:48:19	伝わりにくくなってるのか、これ
0:48:23	我々はわかるけれども、我々以外の審査でこうやっていつも聞いてない人わからないだろうとか思ってるようなところとかを、気づいてもらったらいいかなって思って。
0:48:33	こうやって、
0:48:35	ちょっと丁寧に言っていこうと思うんですけどまず 8 ページなんですけれども、
0:48:47	これがあれですよねワードにもなってる文章なんですけれども、
0:48:55	そもそもこれ基本方針なんですか、っていう報タイトルもちょっとわからないんですけども。
0:49:02	あと、一つ目の丸で、
0:49:05	何て言うんですかね、二つ、括弧で二つ書いてますよね。地震に伴う津波の水位っていうやつと、
0:49:13	地震に伴う

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:49:15	津波が陸上地すべりとピークと重なるかどうか、っていう二つありますよ。
0:49:21	で、
0:49:22	この二つのうち、1、
0:49:24	元の地震に伴う津波っていうのが、
0:49:28	これが 0102 に分かれるってことなんですよ。
0:49:33	そうしたときに、使ってる言葉ってこれでいいんですかって思うと、①は、地震に伴う津波の最大ケースを、
0:49:42	最大ケースの組み合わせ評価
0:49:44	二つ目になると②ピークの水位が高い波源のって、何かおなじことを言っているはずなのに、これってあれですよ地震に伴う津波の最大ケース。
0:49:58	から選んでるものですよ。
0:50:00	それがねなんか言葉が変わって何かこうよくわかんないなってなるんだらうなと思います。
0:50:05	で、さらに言うとその地震に伴う津波の最大ケースの、
0:50:10	組み合わせ評価って言ってるんですけど、
0:50:13	これはあれですよ。
0:50:15	最大ケースの組み合わせ評価って、我々、これ、
0:50:20	ね、次、津波、地すべりと組み合わせるっていうのはわかりますけど、
0:50:25	これはやっぱり
0:50:27	最大ケースを用いた組み合わせ評価なのか。
0:50:31	最大ケースと地すべりなのか
0:50:33	と、この組み合わせ評価っていうと、多分意味は通じにくくなる。
0:50:39	で、もう一つ細かい話をすると最初の丸のうち、
0:50:44	PEEKっていうのを裸で使ってるんだけど、PEEKって何ですか。
0:50:51	思いません。陸上地すべりのピーク。
0:50:54	で、
0:50:56	普通の機器と聞いたらわかんないですよとかいう話。
0:50:59	で、
0:51:02	組み合わせ評価においては、この二つが結果に影響を与えられ
0:51:08	こんな結果に影響を与えられるなんかこれも当然の話であって、
0:51:13	これが大事なんだよって言いたいんですよ。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



0:51:17	そういう言葉じりっていうのはちょっと大事にしてくださいよっていうところ と、
0:51:25	多分ね僕この①と②って分けて言ってるけど、
0:51:29	何かグループとしてはもう①も②も一緒にした方が話としてわか るんじゃないのかなって思うんですよね。水に着目したシリーズ
0:51:40	でそれでは拾えなかったピークに着目したシリーズっていう、そういうそ ういう交付
0:51:45	多分、大きくは2段あって、その1段目を、
0:51:49	分けてるような感じだと思うんで、
0:51:53	これ何かあんまり三種類を検討してるという、
0:51:58	よりかは最初に書いてたような二つ。
0:52:03	のことに着目してるんだよっていうような、
0:52:06	説明の方が、聞いているのはわかりやすいんですけども、そういう感想 ですね。
0:52:16	その辺のだから言葉をちょっと統一して欲しいの等、
0:52:25	2番目はあれですよ。だから、地震ニイツ伴う。
0:52:29	津波の最大ケースを使ってさらに、
0:52:32	さらに総変動も考慮しましたっていうようなパターンかと思うんで、
0:52:37	何かこの辺の12と間関係が、
0:52:40	わかるようにして欲しいのと、
0:52:45	あとはね、
0:52:47	結局今回何やったんですかっていうのがこの基本方針で、
0:52:52	よくわかんないですよ、本日の説明概要の基本方針。
0:52:59	これ、
0:53:09	新居さん。
0:53:11	うん。
0:53:12	前提する
0:53:14	何か、だから③を今回やって、だから③っていうのはこういう考え方で こうこうやって、こうやりましたっていうようなのが多分いるんじゃない のかなと思うんですけども。
0:53:27	ちょっとその辺、
0:53:29	考えてもらったらいいかなと思います。
0:53:33	で、
0:53:35	田辺さんちょっと入って
0:53:38	規制庁の名倉です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:53:41	私ここんところ、
0:53:43	少しやっぱり経緯に引きずられてるかなっていう印象をちょっと持っていて、
0:53:48	確かに順番からすると0イシマルに行って、
0:53:51	やったんですけど、
0:53:53	もしこれを方針にするんだったら、
0:53:58	発想を転換する逆転するとか、
0:54:01	丸さんが最初に方針としてきて、
0:54:04	それを補う、
0:54:07	手筈として0102ってのが、
0:54:10	あるのかもしれない
0:54:14	うん。だから方針として述べる時に何を述べておいて、それを補完する取り組みとしてどういうものが、
0:54:22	必要なのかっていうことで、
0:54:24	考えても、結局論理は変わらないんで、
0:54:28	ただ説明の仕方として、
0:54:30	全部がひっくり返るんだけど、何が主になるのか。
0:54:35	ていうところを、
0:54:37	少し考えてやられた方が、
0:54:40	少しいいかなという気はちょっとします。これは後からでもドイでもなるのでいいんですけど、
0:54:46	そういったところ少し全体の、
0:54:51	基本方針、
0:54:52	なので、
0:54:53	こうしますっていう方針を述べるところなのでそこに考えられるとか可能性があるとかが、
0:55:00	ていうのはちょっと違うわけですね。
0:55:02	だから方針はこうしますっていう、こういうことをしますっていう宣言。
0:55:07	であるので、そのところでどういう切り方をするのか、それをどういうふうにフローに展開するのか。
0:55:17	うん。
0:55:17	そこをちゃんと考えてやっていただければ、おのずと全体体系はできる。
0:55:26	思います。
0:55:27	ちょっとこら辺少し、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:55:29	よく考えてみていただけたらなと思います。
0:55:33	はい。
0:55:41	サイトウ電力オクデラでございます。
0:55:44	ちょっと今までやったこと、
0:55:46	というところの重要なところに、
0:55:49	ラベルをつけつつ、今まとめているところですけども今いただいた
0:55:55	確認結果も踏まえながら、まとめ方が、基本方針
0:56:00	で、
0:56:01	どう打ち出すのがわかり良いのかというようなところを、を考えてまとめ の方やっていきたいと
0:56:12	井谷さん、ちょっと補足するとだから丸さん前面出すんっていうのは私も これは、
0:56:18	いいのかと思うんですけどそれは、③をやることによってこれまでの課 題が解消するんだっていうような発想になっているなったら、丸さんから 話を始めるっていうことになっ
0:56:29	なると思うんですよ。だからそのその前段にここに繋がるようなことをそ の前で、
0:56:35	ちゃんと言っとくと、私もそっちの方がわかりやすいのかと思い
0:56:41	んでね。
0:56:41	この 8 ページのこの最後の丸とかね、こういうことを
0:56:47	何かこう、
0:56:50	言葉が、言葉がというか、文章がかなり私はこれ雑だと思います横野。
0:56:56	①から③以外の組み合わせ評価にはピークが重ならない波源と、ピー クの水位が低い波源の組み合わせ評価があるがあって、
0:57:07	これ、普通の人をこれ読むと、
0:57:10	ピークが重ならない派遣とピークの水位が低い波源を組み合わせる評 価があるとか、
0:57:17	これ本当に個社内で、
0:57:19	意味がわかる文章としてこうチェックがなされてるんですかっていう。
0:57:27	ぐらいな、何なんなんだろうなって思うような文章なんですけれども。
0:57:36	私ども、言うたらね、例えば③、①から③以外の地震に伴う、
0:57:43	津波波源としては、水位ピークが、
0:57:46	重ならない波源、または、
0:57:49	水位が低い波源を用いた

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:57:52	時、地すべりとの組み合わせがあるんだけどもとか、そういうことだと思わんですけれども、
0:58:02	することはない。
0:58:05	高くなることはない。
0:58:08	よって、今回の検討で敷地への影響の大きな波源が、
0:58:14	選ばれ、
0:58:15	選定できる、できているのかな。
0:58:18	わかりますかねこういうふう、ちょっと読んでみて、何か違和感を感じるようなところは、ちゃんと直して欲しいと。
0:58:26	というのがリクエストです。
0:58:29	それを似たような言葉じりですけど7ページの最後なんですけれども、
0:58:39	以上を踏まえると、
0:58:41	何かコーン
0:58:44	川白等、地震のピークの重なりも考慮する必要があることを確認したって言ってんですけど。
0:58:53	ピークの重なりを考慮する必要があるって、
0:58:59	てる検討はそうそうなんですけど、いやそもそもこんなのピークの重なりは考慮するって普通に組み合わせたときにしてますよねっていうことを、
0:59:08	効果書いてるんですよ。
0:59:09	何かですねこの文章で言いたいことは何なのかっていうのを、もうちょっとこう考えてもらえた。
0:59:16	いいのかなと思いますけど。
0:59:20	わかりますか。
0:59:32	続けますよ。どんどん言いますね
0:59:34	12 ページでね、多分これ、
0:59:40	普通の人にはな。これ見て、何で第2は戸田伊井%。
0:59:49	検討するんだって。
0:59:51	というのが、
0:59:54	わかんないと思います。これ、いきなり構台やっぱ第2版以降、話を始めていると
1:00:00	いう部分が、
1:00:06	受けてますよね。
1:00:09	本編だったらわかるんですか。
1:00:55	なんかね多分ね、何で第一波代に話が、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:01:00	なんだろうなって思わないような整理の仕方っていうのが何かあると思うんですよ。何とかである第2%、第2は第一波、
1:01:10	だから第7陸上地すべりかわしらは第一波を見てその第一波と重なるのは第一波だへの何。
1:01:18	地震の第一波と第2は、だからこういうことをしますっていう。
1:01:23	そういう話じゃないと検討方針的にぼんぼんとかう。
1:01:27	話が入ると。
1:01:29	これは迷うだろうなと思いますよ。
1:01:34	多分僕ここで言わなきゃいけないのは、
1:01:40	地震の単独でやったパラスタがこんなものがあるんですよっていう話と、
1:01:45	今回、そういうのを一応網羅してやってる。
1:01:50	移送、移送に着目はし始めたんだけど、
1:01:53	その地震の
1:01:55	パラスタでやってる項目は網羅してるんです。それはどういうところでしてるんですっていう。
1:02:01	何かその辺の説明、
1:02:03	要するに
1:02:05	9、
1:02:06	移送に着目してやるんだけど、パラスターをパラスターをやっていパラスタというか詳細、
1:02:13	概略検討詳細検討ということを言ってるんですけど、見てるものは、
1:02:18	ちゃんともともとやってた地震の評価で、
1:02:22	やっていたもの、これを網羅するような形で順番を変えてやってるんだ。
1:02:27	で、
1:02:28	言われないと、多分これ、あれ、何か他に抜けがないのかなとかいう全く新しいものをやってるわけじゃないとか、いうところがですね、何かメッセージとしては、
1:02:39	ある。
1:02:41	あるんじゃないのかなって、資料の方ではもう、なんかそういうの意識はされてるんだと思うんですけども、何か説明として明示的に、
1:02:50	言ってもらった方がいいのと、
1:02:53	あとアスペリティ位置を、ここじゃなくてもいいのかもしれないですけどアスペリティ位置をどう扱ったかっていうのがね。
1:02:59	これ資料全体の話ですけど。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:03:02	アスペリティ1って最初は、
1:03:06	津波高さに影響があるパラメーターなんだっていうのから始まるんですよねこの12ページ。
1:03:12	でもこれ、詳細検討で、最後の結論は、これは影響が小さいとかって書いてるんですよね。それなぜかという、アスペリティ位置の大きな変動はすごくけ。
1:03:24	箱に影響するんだけど、その中ではコガ影響、影響をきな粉のう。
1:03:32	場所に1回ここでこう決めて、
1:03:35	評価を
1:03:37	詳細検討では、その中の、もう限られた範囲で、この範囲でやっつけばいいんだっていう、
1:03:43	パラスターをやっているっていうその関係がですね。
1:03:48	これ、
1:03:48	細かすぎてわからないと思うんですけど、わかりやすさの話じゃないんですけど、でもなんか読んで細かく読んでいく人からすると、多分これ矛盾してるような書き方になってるので、
1:04:01	それははっきりと整理して欲しいな。
1:04:06	思います。
1:04:15	13ページかな。だから、
1:04:17	13ページでAsperityの説明はしてるけれども、もう少しちゃんと説明が要るんだと思いますよ。
1:04:23	で、13ページ検討結果、検討方針とセットなんだけど、
1:04:32	検討方針と検討結果のセットで、
1:04:37	ちょっと細かいところあるんですけど、箱書きで言うと、一番上のこの検討結果で、
1:04:45	一つ目の丸っているんですけどかを思いました。
1:04:59	断層、これは断層パターン7のアスペリティ位置のっていうのが三つ目にありますけれども、このアスペリティ位置の変動を考慮したことで、
1:05:10	この文章はね、
1:05:14	ちょっとわからないんですよ、これ。
1:05:16	三つ目の丸って、
1:05:21	何と比べて、
1:05:24	組み合わせ評価の水位が特に高くなったためである。
1:05:29	やったことはわかるんですよ。
1:05:34	結果が、前回と変わったんだけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:05:38	それは何が影響したかというと詳細検討で実施したアスペリティ位置、
1:05:44	ていうのを、波源が高いもの。
1:05:47	箱が高くなるような、
1:05:50	検討したからだからこうなったんだっていうことなんだと思うんですけども、
1:05:55	なんかねそれはねえ、これ。
1:05:59	ここでポーンと言われても、多分わからないとは思いますがけれども、
1:06:04	書くんだったらしっかりと
1:06:07	何のこと言ってるのかっていうのは、何と比べて、
1:06:11	高くなってるのかっていうのがわかるような記載が要るかなと思います。
1:06:40	あとね、このちょっと確認したいのが 13 ページでもう結果の話なんすけどこの黄色ハッチング、
1:06:47	がかかっているとっていうのは、水のピーク同士が重なってる北海道電力でいう③の貢献等から選ばれてるものなんだけれども、
1:06:57	ハッチングがかかってないところが二つあるじゃないですか。
1:07:01	そこって結局ピークは重なってんないけれども最大になるっていうことでいいんですか。
1:07:10	どっかにこうは形。
1:07:13	とかあって、ついてるんでしたっけ個重ねるあわせの重なり合い方の葉系っていうの
1:07:20	を北海道電力の青木です。江藤。具体的には白抜きのところなので、
1:07:24	傍聴て前面健全の波源Aと 12 号取水の波源Cの話かと思ってますそちらについては、頭ちょっと注釈打ってるところでして、一番下に※3 と※やんというところで 66 ページと 67 ページで、
1:07:39	その詳細な評価してるところになります。
1:07:42	66 ページでは、
1:07:45	こちらについては傍聴て全面っていうところでした、
1:07:50	66 ページですね。
1:07:52	こちらは水最大地点というところが 13.44 と書いてあるところになっておりましてこちらについては、
1:08:00	藤地震津波の 2 羽と川白の一派が重なっている結果というふうに考えております。
1:08:06	続いて 67 ページの波源C。
1:08:10	ていうものについては、こちらはももとの地震単独としては元が大きいものというところで、そちらを組み合わせ評価やったところ、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:08:20	大きくなったというようなまとめ方になってます。簡潔に重なってるかどうかというところ言うと、
1:08:26	と重なってはいない波源なのかなというふうに考えております。以上です。
1:08:32	はい、渡です。えっとねそこがね、何か、今後、
1:08:37	わかるようにして欲しいんですけども。
1:08:40	そうなってくると、ちょっと疑問がわくよと。
1:08:44	なぜならば、ピークが重なる波源がエラー選んでいるっていうのが今回の丸さんの評価の売り、
1:08:52	網羅的にピークが重なる波源は、
1:08:55	こういうものが重なるんですっていうときに整理しているのに、パターン6の第2墓、第1、
1:09:03	これは、
1:09:04	と重ならないグループに入ってなかったですかね。
1:09:08	で、
1:09:09	だけど、やってみると重なるでこれな、何でこんなことが起きてるかっていうと、多分、評価時点が、
1:09:19	前、何、
1:09:21	傍聴で前面の幅広い範囲で見たときにはそういうことが起きてるっていうこと。
1:09:27	なんですかね。
1:09:31	北海道電力の青木です。藤。
1:09:35	防潮で前面というところは範囲が広いということで、こっちの防潮で前面の範囲広い中では重なっていると、いうようなふうに考えております。
1:09:44	ですが一方、この資料で整理しているところについては3号取水とか12号取水放水高に対しては、断層パターン7は重なっていないというところが事実でしてその辺り今資料から、
1:09:57	ちゃんと読んでいかない等を行って、追いついていかないというところかと思っております。以上です。
1:10:05	うん。だったんですけど。
1:10:07	いや、4でもね多分ね、
1:10:12	わからなくて、結局僕らはこのロジックをどうなのかっていう話をした時に、あれ重なってるやつはちゃんと選べてるはずじゃないかって。
1:10:24	そういう発想します。ロジックをたどっていくと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:10:28	それが選べてないってこのやり方に穴があるんじゃないんですかねとか なってくるかもしれません。
1:10:35	ね。
1:10:51	うん。だから、
1:10:54	言った通り、これをやって、こういうのは大丈夫なんですよっていう、し っかりとした説明をしてください。
1:11:04	北海道電力奥寺です。おそらく、
1:11:09	芸Cというものが、こういう結果になりました。
1:11:14	その補足として、
1:11:17	必要な我々やった検討の中の、どういう位置付けのものでこういう値、
1:11:22	ところ
1:11:23	が少し、
1:11:24	少ないのでわかりづらいのかなと思いましたので、
1:11:27	そこら辺の書きぶりとか
1:11:30	目立たせ方といたしますか。
1:11:32	目立たないとわかりづらいのか
1:11:35	表現方法考えたいと。
1:11:37	以上です。
1:11:38	はい。お願いします。
1:11:42	刀禰で、うん。
1:11:45	それとあと 66 ページと 67 ページがまた全く違う観点で説明してるって いうのもう、
1:11:53	なんか見てて、
1:11:55	理解が、
1:11:59	理解できない。
1:12:01	できづらいんですよ。なので、
1:12:04	何でこういうところを見ているのかっていうのがわかるようにな、
1:12:09	説明をしてもらえたらなと思います。だから、最初に波源を比べるとか すね、そういったのも、
1:12:17	波源じゃないは形を比較するとかいうのも大事なのかなと思いますけれ ども、
1:12:23	お願いします。
1:12:38	あと 14 ページは、私、前回これあれですよ台。
1:12:45	2 班も 3%も 4 班も

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:12:47	全部並べて、結構網羅的にやっていたんだけど、いやいやそもそも第3% 同士の重なりなんてこう両方小さいんだからいいじゃんっていう話だと思うんですけども、
1:13:01	これね、やっぱり
1:13:04	全部説明が川白地すべりの方からしか話をしていなくて、
1:13:09	李、地震に伴う津波は、第4は、第2班が大きいチャンピオンになるようなものがあるんだと。それは、
1:13:19	大きくならないんだっていうような説明を、
1:13:23	何かできたらして欲しいなと思うんですけども。
1:13:26	何か最後結論は、結局はこれかわしらの第一波が大きかったからこうなるんですよっていう話になってますけど、何かそうじゃないですよ。
1:13:36	やっぱり地震単独で、
1:13:38	例えばダイゴ版みたいなのがあって思いっきり大きかったらそれがチャンピオンになるわけですから、
1:13:44	ちゃんと地震に伴う津波も、
1:13:47	の波の形も、
1:13:50	ちゃんと話としては取り入れて説明してもらいたいし、やってきたことっていうのはそういうことだったはずなんですけれども、
1:14:02	そういうことですよね。4、2羽と4は、2羽の例えばパターン6だとか4羽の、
1:14:09	パターン7だとか、これは確認。
1:14:12	しておかなきゃいけないっていうことなんですよね。
1:14:15	地震に伴う津波
1:14:26	北海道電力の青木です。
1:14:28	一方、
1:14:29	2、カワセらの2は移行について確認した結果、影響は小さかったっていうところが結論になっております。
1:14:37	そこから、入口の検討方針で行っていた1%との関係性っていうところについては、今端的に一派が大きいからそれでやっつけばいいなっていうようなまとめ方になってそのあたり、
1:14:49	本来は一波等、地震津波の2羽が大きいからっていう地震津波とかは両方とも大きいから、最大ケースになってるっていうような趣旨がちゃんと書かれてないっていうところかと思っておりますので、
1:15:01	そのあたり、検討いたします。以上です。
1:15:05	井谷です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:15:06	あとはねなんかやっぱり 15 ページで、この表を比較してるわけなんですけれども、
1:15:14	この表、表の比較っていうのが、やっぱり同じようなレベルの比較になってないっていうのは、少し説明が足りていないかなと思ってて、やっぱり具体的に言うと、
1:15:27	15 ページの上の表は線形足し合わせ、
1:15:33	出した値と同一波動場を出してる値っていうのがまじってるんですよね。
1:15:41	ここねえ。何か
1:15:43	多分前提として、
1:15:47	いえるのかどうかわかんないですけど線形足し合わせでも小さかったら同一波動場になった時はそれより小さくなるんだっていう、そういう前提があるんですか。
1:15:57	金子の説明をしていると。
1:16:00	線形足し合わせの方が、
1:16:02	必ず大きくなるんですか。ちょっとその辺確認させて。
1:16:07	北海道電力のアオキですと線形足し合わすとドイツはどバーの関係性なんですけどそのあたりがまだ明確に整理できてないところで、どっちが一概に大きいっていうところは、今段階では、
1:16:20	申し上げないところになっております。考え方っていうところは線形足し合わせで見ていったときに、これは怪しそうだっていうところで、ドイツは道場のところで詳細な検討をしたというような説明と考えております。
1:16:35	以上です。
1:16:36	はいってあるんです。そうなんですよねさ、最後同一波動場のものなのところと比べるんだから、ここが同一波動場の値が入ってるっていうのは、
1:16:46	それは別にいいんですけれども、だけど線形足し合わせの値が、この下の表よりももう小さいから、この先が進まなくていいんですっていうのが、
1:16:56	きっと正しいんだと思うんですけれども。
1:16:59	例えばこれがドイツハダババにした時には今度大きくなっちゃったりとか、そういうことはないんですよねだからこういう整理になってんですよねっていうのを、
1:17:07	確認しておきたかっ
1:17:10	北海道電力奥寺です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:17:13	数字の何桁の何センチという
1:17:16	それは計算やってみないとわかんないと。
1:17:18	線形足し合わせっていうの、
1:17:20	相対的な大小っていうところは、スクリーニングの目安になっておりますので、
1:17:26	その中で大きいものっていうのはチェック対象という、
1:17:31	リングの目安になる簡易式とかと似てるんだと思うん
1:17:35	そういう意味で大幅に乖離のあるもの。
1:17:38	良いと。
1:17:40	その考えで今こういう検討
1:17:46	I谷です。
1:17:47	等そういう話でいうと、上の表と下の表でもう明らかにね下の表の方が大きく値が大きいんだと、そういったものはもうひっくり返ることはないだろうと。
1:17:58	そういったこう考えているっていうことなんですかね。
1:18:05	例えば、上の表と下の表を比べて、
1:18:08	2メーターぐらい離れていると。
1:18:10	2メーターぐらい値が下の表の方が大きいと。
1:18:14	これを線形足し合わせを同一波動場でやって、2メーターほど大きくなるようなことはまずないと。
1:18:20	そういう考えがもとにあるってこと。
1:18:26	電力オクデラです。先ほど、相対的大小関係の目安と言って、あとスクリーニングだって言って言いましたけれども、
1:18:35	2メーターほど例えば下がるようなものがひっくり返ることはないと思っております、
1:18:40	そういうようなイメージのもと、
1:18:42	売りに行っております。以上です。
1:18:45	はいたんですその辺がね、わかるようにしてもらわないと同じように比較してないじゃないかと。
1:18:51	いうことになるし、今私二名タテ適当に言いましたけど、
1:18:57	値として近いものはもうちょっと近いのかなとかいうのは、精査して物事を
1:19:03	1メーターぐらいですかね。
1:19:05	だったらもう十分下がるから、
1:19:08	いいんだっていう話なのかもしれないですけど、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:19:11	その辺の整理が、
1:19:14	ちょっと見ててわからないですよ。
1:19:16	いうところで、
1:19:24	あとはですね 16 ページなんですけれども、
1:19:38	ですねえ。
1:19:41	なんか私この
1:19:43	書いてあることの二つ目の矢羽根が、前回より
1:19:48	加えられたのかな、で、
1:19:52	このロジックとしてはですね。
1:19:54	先行サイトの比較例を参考にした上で、
1:19:59	ていうのが最初に来てるんですけども、
1:20:03	これは何か最初に来るような言葉なんですかねっていうのがちょっと何でこれが最初に来るのかなって思う。北海道電力の考えとしては、やっぱりこの二つの矢羽根があって、
1:20:15	そ、そういう理由でこうしているんですよ。
1:20:20	ていう考えなんですよ。で、
1:20:23	それは、先行サイト、
1:20:27	とも、合ってるのか、参考にしてるものになってるのかとか、
1:20:32	そういうことなのかなと思うんですけど。
1:20:35	なんかね最初に先行サイトの評価を参考にした上でっていうのが、
1:20:41	ちょっと引っかけたんですけど、やっぱり最初に来なきゃいけないですか。
1:20:51	クドウ電力オクデラでございます。我々が最終的にこのやり方でいきたいと考えているところは、
1:20:59	考えを明確にした考えというのが、二つの矢羽根でございますので、そちらをベースで、直接、
1:21:07	そのようになって
1:21:09	なので、今おっしゃっていただいたような、
1:21:14	パーターでも、性なのかなと考えておりますので、少し表現を検討させていただきます
1:21:24	規制庁の名倉です。
1:21:28	何て言うのかな。
1:21:29	施設への影響の観点。
1:21:32	ということでこのあと入力津波の評価をやって、その時の
1:21:36	おそらく、パラメータスタディの地形のパラメーター

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:21:41	に即してる。
1:21:42	いうことも、間接的にはその理由になってると思うので、
1:21:47	そういった後工程のことも一応踏まえた上で、
1:21:50	施設への影響の観点から、選定をしていると。
1:21:54	いうことでもいいのかなと思うんですけど、ここら辺ちょっと言い方をですね、
1:21:58	他のサイトを参考にというよりもこのサイトの条件の中で、
1:22:03	設計として必要だからやっている
1:22:06	というような言い方にすれば、それで説明になっているのかなと思いますのでちょっとよく考えていただければな。
1:22:14	北海道電力奥寺です。ちょうど考え方の整理の表現の仕方というものを再度精査いたします。
1:22:45	あとの二つ目の山根で確認したいのが、
1:22:48	ふむふむって思ったんですね基準津波の策定後に実施する施設、本坊市津波防護施設や防止施設等の影響評価においては、
1:23:00	影響地の
1:23:01	大きい。
1:23:02	評価値の大きい波源を選定することが、前回っていうのはどうかよくわかんないけど、
1:23:08	する必要はあるわけですね。
1:23:11	なんだけどこれはあれなんですかね地形モデルごとにこう評価が変わっていく。
1:23:17	ような、
1:23:18	施設。
1:23:19	ということなんです。
1:23:24	四つの地形モデルを変えて、この防護施設の検討をしたりするっていう。
1:23:32	意味なんですかね。
1:23:37	衛藤田井津波設計方針においても、基準津波の方で防波堤の損傷四つの地形検討しておりますが、耐津波設計方針の後段の検討でも、この防波堤の損傷というところで四つの地形、
1:23:50	個々の試験等やっていってその結果、一番厳しい値っていうものを設計に用いる値というふうに設定していることを考えております。
1:23:59	以上です。
1:25:03	その辺私ももうちょっと、いろいろ確認して今

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:25:08	23 ページなんですけれども、
1:25:12	これ一、こっからはちょっと本編で使ってる資料の話になっていてすみません順番が、
1:25:22	これねえ。
1:25:23	何か両括弧 1 両括弧 2 っていうので、
1:25:27	分かれてて、
1:25:31	両括弧 2 の中の概略検討。
1:25:37	の中に、
1:25:45	この最後のす。
1:25:47	概略検討がこっちに入る
1:25:51	へと。
1:25:51	すみません。
1:25:53	両括弧 1 でピークが重なる波源の特定をしました。移送の件、観点の検討しまし
1:26:00	てそのあとに、
1:26:02	両括弧 2 の概略検討で、
1:26:06	両括弧 1 で使う、検討する断層パラメーターである、東西方向位置
1:26:12	系モデル区野地モデルを対象に、
1:26:19	水の観点から影響の大きい断層パラメータの変動を考慮するって書いてるんだけど、
1:26:25	そんな検討でしたっけっていうのを、
1:26:29	これ別に、
1:26:32	両括弧 1 でやってるのから、
1:26:36	影響が大きいのを選んだんですっていう。
1:26:39	変動を考慮するっていう意味が、
1:26:41	僕がちょっと勘違いしてるのかな。
1:26:46	北海道電力の青木です。ここちょっと具体例で説明させていただきます。
1:26:52	と(1)の中の東西方向一井にかかる言葉だと思っております、(1)の検討の中で東西方向位置としては、
1:27:01	と幅としてニシナンキロからヒガシ何キロっていう幅を持って重なる波源というのが特定できたというふうに考えております。
1:27:09	じゃあその東西方向 1 に対して、(2)の水の観点からの検討というところでどういう波源絞り込んでいるかっていうところについては、一番東方向重なる範囲のうち一番東方向、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:27:22	の波源を設定したっていうところでその観点から、
1:27:26	(2)の
1:27:28	下の枠の概略検討のところ、
1:27:31	東西方向位置を対象に水の観点から影響の大きい断層パラメーターの変動を考慮したというようなことを、
1:27:39	考えてこのような記載にしており
1:27:45	なんかね。一言で言うと、両括弧 1 と両括弧 2 でやってる、ここの東西方向 1 矩形黒字モデル。
1:27:54	ていうのの何をやってるかっていうのが切り分けが、
1:27:57	うまくできてないんじゃないのかなって思ってた、概略検討っていうのはただ単にただ単にというか、
1:28:06	やってるものからこれを選んだんですよっていうようなことだったような気がするんですけど。
1:28:13	だからそれを変動を考慮するっていう、
1:28:17	書き方をするからなのかな。
1:28:20	その辺、
1:28:22	変動を考慮するっていうのが何かもやっとし過ぎてるだけかもしれないですね。
1:28:27	これ、これを
1:28:32	この
1:28:33	は形を確認して選定する、なのかもしれないんですけど、
1:28:38	多分僕、1、1 で言ってることと 2 で言ってること、括弧 12 の、
1:28:44	話がちょっとよくわからない。
1:28:47	いうところですよ。もう少し私も考えています。
1:29:02	ですよ。
1:29:04	2526 ページとして行って、
1:29:11	言い忘れたけどこの 25 で、例えば 25 これどこでも使ってるんですけど、②の地震の発生範囲っていうのが、
1:29:19	何かやっぱり前も何かチラッと行ったのかもしれないんですけど、気になりますね、地震の発生範囲って言って、多分、
1:29:27	ピンとこないと思いますよこの波源設定の範囲だとかそういうことだと思いますけど。
1:29:33	ちょっと、
1:29:34	いろんなところでこの後使われるんで、直すとしたら結構何を直さなきゃいけないかなと思いますけど。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:29:41	この言葉がいいのかっていうのを確認してもらったらと。
1:29:45	28 ページに、
1:29:49	これ何。
1:29:50	この僕この 28 ページで説明したいことが何かよくわかんなかったんですけど。
1:29:57	これ何を説明したいんでしたっけ。嘘。もうもうすごい簡単に答えてもらってると思う。
1:30:03	藤北海道電力の青木です。衛藤丸組み合わせ評価①から③っていうものが、前段であると説明したところできて、組み合わせ評価の①と②でやったケースが断層パターン 6
1:30:17	と 7 っていうところが対象になっていて、
1:30:20	組み合わせ逆を言いますと、組合評価③のところでは断層パターン 5 と 8。
1:30:25	ていうところを整理やっていきますよっていうところ。
1:30:28	説明する指導っていう位置付けを考えています
1:30:52	はい。
1:30:54	うん。うん。
1:30:58	はいそういうことですね。
1:30:59	2、29 ページはねえ。
1:31:10	どこ
1:31:12	地震の発生範囲。
1:31:19	29 ページは、やっぱここ僕アスペリティ位置のところ気になったんですけども、
1:31:25	この表の右、右下の表の読み方があんまりわからなくて、
1:31:32	アスペリティ 1、ABからG1 と書きつつ、想定される変動範囲。
1:31:39	で、
1:31:40	解析対象とする変動範囲は、D、EからE、Fですと。
1:31:46	小令和、
1:31:51	想定される。
1:31:53	変動範囲。
1:31:55	じゃ、断層上縁深さ 0 から 5 キロ、1 キロピッチ。
1:32:00	だけど解析対象とするのは 03、
1:32:05	なんかこの辺がね。
1:32:08	よくわからない。
1:32:10	かったですねえ。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:32:12	想定される変動範囲っていうのがいいのかなとか思ったりもするんですけども。
1:32:19	だからアスペリティGを詳細検討でアスペリティ位置を検討しているのはその限られた範囲しかやってないんだよっていうのと、
1:32:29	なんでそれでいいのかっていう、最初のところにも固定してここでやるんですよっていう、その辺の関係がどっかでご説明されておけば、
1:32:38	いいのかもしれないんですけども。
1:32:43	この表を見てね、わかかわからなかったですね。
1:33:58	はい。ちょっとこの表をポンと29で見ると、迷ってしまうなど。
1:34:05	30ページはねこれなんかね、タイトルがよくわかんなくて、
1:34:11	30ページのこの、
1:34:12	上の黄色の
1:34:14	四角囲みですけど、3ポツ地震に伴う津波における東西方向位置の検討の位置付け。
1:34:22	というのが、
1:34:25	これってあれですよね本編資料の3ポツで、
1:34:28	検討の位置付けでいいのかな、なんか。
1:34:32	私はこれ30ページと31ページって、これ右、30ページの右下で書いてるように、当院分の検討と同じような範囲でちゃんと見ますよっていう、
1:34:44	そういうことを言いたいんですよね。
1:34:47	だからそこそこにこう飛ばしていくんじゃないかって、もう島縁部の検討っていうのは、
1:34:53	もう、
1:34:54	検討は終わってるとかやってるってそのやり方っていうのを今、どうこう言うつもりもないので、遠縁部でやってる。
1:35:04	範囲を考慮します。その範囲は31ページですだけで、何か十分なんじゃないのかなと思いますけど。
1:35:13	それとも、違うんですか31ページ。
1:35:18	北海道電力の青木です。衛藤さん10ページと31ページの関係というところで、
1:35:24	ちょっと30ページでは、3ポチの地震津波の島縁部の範囲っていうところをおさらいというところで、もう一度再掲しているところになっております。
1:35:35	結論については、同じでして日本海島縁部の範囲の中で検討する。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:35:40	その検討したものが 31 ページの結果一覧というところになっております。このやりとりの中で 30 ページのところがちよつと蛇足なのかなって いうふうに感じておりますのでこの扱いについては、
1:35:52	わかりやすさの観点で検討したいと考えております。以上です。
1:35:57	うん。はい。はい。そうですね。
1:36:00	私の認識で合ってたっていうのが確認できて、
1:36:04	随所に値設定したとか言って
1:36:09	考慮したとか、設定するとか
1:36:13	なんか、あたかも今回こう新しい概念でやってるような感じに、
1:36:19	受けると、じゃあ何か
1:36:23	本当にこれでいいのかなっていう話を
1:36:26	もう 1 回見てしまう
1:36:29	これまでと同じでやってる。それをその通りやってるんだっていう話だっ たら、その時に確認したことを思い出せば、
1:36:39	おんなじやり方なあって、私たちは整理します。
1:36:50	もう何かこんな、こんな、
1:37:07	34 ページね。
1:37:18	14 ページなんだ。
1:37:19	このね検討方法の、
1:37:23	二つ目の○検討にあたっては地震の発生範囲を考慮した上でピークが 重なる波源を特定し
1:37:35	必要な言葉なのか何か二つ目の意味がよくわかんなくて、
1:37:39	何かどっちかというのと、
1:37:42	各断層パターンで、やりますよとか、場合によっては、
1:38:01	でもいいのか、アノだ各断層パターンでやるし、この
1:38:06	②の範囲でやりますよっていう情報があるのか。
1:38:09	はい。
1:38:15	はい。35 ページはねえ。これはねえ。
1:38:20	言いたいことはわかりましたんくの字と、矩形モデルは時間差があるよ とそれは、
1:38:28	矩形モデルは、
1:38:30	10 キロ黒字を 10 キロ出したのに相当するようなタイミングで来るんだ と。
1:38:37	いうことなんですけどこれ符号で書くとね何かいろんな意味がこう変わっ てしまうと思うので、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:38:43	これは
1:38:46	イコールで書くのはどうかなと思いますけど、
1:38:49	ちょっと、
1:38:50	検討してください。
1:38:56	36 ページね、36 ページを。
1:39:00	これ
1:39:01	陸上地すべり買わしらっていう、裸で使ってるけど、これ多分ね、一発で入れなきゃいけない。
1:39:08	と思いますよ。なぜならそのあとで
1:39:15	そのあとで2羽がどうのとかいう話も後でするわけですからね。
1:39:25	何か
1:39:26	そのあと2行
1:39:29	第2はポツポツの後に東西方向位置を最も飛田東へ移動させた場合のみ、
1:39:35	ピークが重なることがある。
1:39:37	次は日東西方向位置の幅を持つ範囲においてPEEK
1:39:41	そうなる。
1:39:43	ていうのが何か。
1:39:45	5がちょっとおかしいのかもなとか思いましたね。
1:39:48	東西方向、1の、
1:39:52	おむつ範囲、東西方向位置っていうのは、
1:39:57	ヒガシ移動させるもの。
1:40:04	東西方向位置って何ですかっていうのが何かこう、
1:40:07	見ててよくわかんなくなってきた、
1:40:10	断層上F上縁深さを何キロに設定するっていうのはちょっと、何か、東西方向位置っていうのばらばらメーターの名前で、
1:40:20	東西方向位置ってなんだろうなとかちょっと思ったりしましたが、
1:40:24	ちょっとその辺は、
1:40:27	意味はわかりますけど、
1:40:29	幅を持つ範囲においてっていうのがね、何か、
1:40:32	うん。
1:40:35	結果わかってますけど、
1:40:37	何かもっといい言葉ないんですかねと思い
1:40:57	あとはねえ。
1:40:59	なんか、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:41:02	きりがありませんけど、40 ページ、
1:41:04	断層パターン 5 から 8 のすべてが西へ移動させた場合にピークが重なる。
1:41:16	断層パターン 5 から 8 の、
1:41:18	すべてが、
1:41:20	西へ移動させた場合、
1:41:23	PEEK効果
1:41:25	で、
1:41:27	言ってることわかるんですけど、
1:41:30	何かもうちょっとちゃんと丁寧に書いた方がいいかなと思う。
1:41:33	ここ全部ですね
1:41:36	すべてが西。
1:41:37	黒字モデルは、ピークが重なる。
1:41:50	でね、次はちょっと構成なんですけど、46 ページに、
1:41:57	検討方法っていうのがあるんです。
1:42:01	これ、47、その前の順番からいうと、
1:42:06	これ④の概略検討の途中なんですけど、
1:42:11	④の概略検討っていうのが、
1:42:13	43 ページから始まって、44 ページ。
1:42:19	が、
1:42:20	対象波源の選定方法でしょ。
1:42:23	45 ページがその結果でしょう。
1:42:26	46 ページになってまた今度は検討方法から始まるんですね、概略検討の。
1:42:32	47 ページは、
1:42:34	検討結果、検討結果でしょう。
1:42:37	これなんか多分、
1:42:39	違って、
1:42:44	ここでやってることって三つあって、
1:42:48	概略検討であったの。
1:42:51	一つ目は一番東側の波源を選んだっていうことですよこれが 45 ページですね。
1:42:57	で、
1:43:01	二つ目は、矩形特の時、
1:43:04	どちらかを選定しますっていう話ですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:43:07	③、三つ目が、断層パターンの比較っていうことを言ってて、
1:43:13	多分その順番に書けばいいんだと思うんですけど、何か 46 ページで何で検討方法なのかなってというのが、
1:43:21	よくわからない。
1:43:23	47 ページは
1:43:26	わかります私の
1:43:28	なんで検討方法がここに、
1:43:32	で、47 ページに根井なんかね、この比較できないため除外対象外って書いてるんですけど。
1:43:39	多分そうじゃないですよ。黒字が選定されていない。
1:43:44	から、
1:43:45	比較する必要がないんでしょう。
1:43:56	何かそういうところをこう、
1:43:58	比較できないため対象外ってこう言われると何、何がどうなって比較できないのかなと。
1:44:06	47 ページ 48 ページってこれ、比較した比較したで終わってますね。
1:44:12	で、
1:44:13	比較した、確認した比較した確認したって結局どう選んでるんですかってというのが、
1:44:19	何かよ。
1:44:20	こうだからこう選んだっていうところまでここでなんで書かないのかなあと思って、49 ページもそうなんですよね。
1:44:27	こういう特徴を確認したこういう特徴が確認できた。
1:44:32	以上より選定したって言うんですけど。
1:44:36	何か確認したことと、選定したっていう
1:44:40	間が何か抜けてるような気がするんですね。
1:44:43	で、
1:44:46	もう 1 点はね。
1:44:47	48 ページで何を見てるかっていうと、
1:44:53	葉系の特徴を見ているのと、48 ページ見るとね。
1:45:12	で、
1:45:13	48 ページ第、第 2 版のは形が重なり、
1:45:17	異なるとは形の特徴が異なると。
1:45:20	SEが高いか低いかって二つ見てるんですよ。48 ページは、
1:45:24	47 ページいって、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:45:29	水位が高いか低いかしか見てないですよ。
1:45:32	この辺のの、何かルール、多分こう、
1:45:35	あれですよ。は形の形は同じっていうのを前提に話しているのが 47 ページで、48 ページは、
1:45:43	そうじゃなくて二つともちゃんと説明しているという違いがあるんだと思うんですけど。
1:45:48	何を見ているのかっていうのが両ページで違うところ迷いますよね。
1:46:11	51 ページに、こうなっていましたさっきの方を、
1:46:19	さ、さっきのこのAsperity値っていうのは、
1:46:22	ちょっとこうわかるようにして欲しいのと、
1:46:25	結局dからEFを、
1:46:28	50 キロメートルピッチで確認して、
1:46:32	今回あれですよ。いずれもこれ事実確認ですけどピークは押さえてたんですよ。どのケースでも、
1:46:42	20 キロの場合と 30 キロの場合が大きいってことは、
1:46:48	もっと西、もっと南に寄せたり、もっと北に寄せたりする必要はないっていうのが確認できたってことでいいんですかね。
1:46:56	北海道電力の青木です。5 時 51 ページのところで辛い F10 キロメートルピッチで検討した結果、真ん中に該当する DE ミナミ 二次とか ミナミ 30、
1:47:08	というところでチャンピオンが出ておりますので、この D から EF よりさらに ミナミ だとか 北田 とかっていうのはピークでないというふうに考えております。以上です
1:47:17	井谷です。これ例えばピークが、どっちかによってたら、さらにその 10 キロ北側とか 10 キロ南側、結果としてはそんなことはなかったんですけど、
1:47:28	やるつもりだったか やらないつもりだったか というと、それきっとやるつもりだったのかもしれないし、とかいう、
1:47:38	なんかそういうこともどう考えてたのかっていうのは、
1:47:42	書いた方が、我々は、
1:47:45	伝わるかなと思ひ
1:47:54	で 51 ページは、なんかね、52 ページの
1:47:59	絵を見ると、51 ページの結果みたいなもんなんですけど、
1:48:04	これ地形モデルが
1:48:08	各報

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:48:10	表ごとに違うんだろうなと思うんですけども、
1:48:14	これそもそも 51 ページで、
1:48:19	どういうものを
1:48:22	全部の地形モデルでやったのか。
1:48:25	とかも、
1:48:27	全部でやってんですよねこれ。
1:48:30	4、
1:48:31	地形モデルのすべての地形モデルでこういうのを確認したっていうのとかも、
1:48:36	対象はどれかっていうのもちょっと入れてもらった方がわかるかな。
1:48:43	当北海道電力のアオキですと概略検討詳細検討、組み合わせ評価を含めて全部の地形モデルで一律検討しておりますので、その地形モデルの考え方、
1:48:54	記載したいと思います。以上です。はい、確認できました。だから全地形モデルで、上昇側の評価項目のすべてでやってると。
1:49:02	その中で、説明しやすいものが 52 ページ 53 ページとかに貼っつけてあるとそういうことでいいですか。
1:49:11	藤北海道電力青木です。全部の地形モデルやった上で、5253 では代表というところで一番水位が高いものを載せております。その通りの認識です以上です。はい、確認できました。
1:49:24	52 ページの最後の結論的なところなんですけど、
1:49:30	何か一つ目の丸は、
1:49:32	断層パターンの違いと比較してアスペリティ位置の変動による水位時刻歴は系の影響は小さい。
1:49:40	っていうこれがあるですよ最初にこう大きいと言っておきながら、アスペリティ位置の影響小さいって書いてて、
1:49:51	これ。
1:49:54	これ、何のために書かなきゃいけなかったんでしたっけ、これを書く理由。
1:49:58	何かあるんですかね、この一つ目のマル。
1:50:00	当北海道電力の青木です。記載したイトウというところで、衛藤断層パターンについては、入口の段階で、
1:50:11	5 から 8、それぞれいろんな件、網羅的に検討対象とするというところで、その理由がは形が違うから対象にするというところを、
1:50:21	これ具体的なページで言いますと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



1:50:23	2627 あたりでうたった上で検討をスタートしておりますので、断層パターンは形違うことによってそれぞれ検討しなくてはいけないというふうに考えたものです。
1:50:34	それに対して、52 ページとか 53 ページの詳細なパラメータ振ったような検討については葉系に及ぼす影響というのは小さいので、これらは代表のケースで十分だというようなところを、
1:50:47	を踏まえてこういった断層パターンと比較して、アスペリティ位置等の変動の影響は小さいというところを考慮して整理しております。
1:50:55	再報前段で整理した、確かアスペリティ位置が水に及ぼす影響というところとちょっと、
1:51:00	記載ぶりとか見え方が違うというところは理解いたしました。以上です。
1:51:06	刀禰。うん。
1:51:08	うん。井谷です
1:51:12	そうね。これ小さいっていうよりかはどれぐらいだっっていうのも、何か、
1:51:17	入ってきたらね。
1:51:20	アスペリティ位置の変動は大体これぐらいである。
1:51:23	上縁深さの変動がこれぐらいであると。
1:51:25	私はこれ多分あのグラフを見て、
1:51:28	読み取れないような世界の話で、
1:51:32	何かそれを見て多分こう、
1:51:35	これぐらいのもんだったら、例えばこっちとこっちがひっくり返らないとかそういう話ができるのかもしれないですし、
1:51:44	値があった方が良く、良いですけど、別にそれ、それ絶対必要とかこの基準、基準適合で必要とか言ってるつもりはなくて、
1:51:53	理解しやすいなんて言ってるだけです。
1:52:12	あと何か飛ばし気味ですけど 59 ページはですね。
1:52:25	多分これ、59 ページのこの二つ目の丸は、
1:52:33	そうだったですかね、必ずしもそうじゃないポイントなかったです。
1:52:45	違うと。
1:53:00	北海道電力の青木です。結果は 56 ページで、2 羽のヒガシ井戸の場合、
1:53:08	58 ページで西移動の場合、それぞれ変えております。
1:53:12	これ比嘉空、ちょっと見づらいんですけどめくって確認していただくと、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:53:17	一番左上はちょっと例外なんですけれどもそれ以外は、西井井戸の方が大きくなっているものは、失礼しました逆ですね、第2はヒガシ殿が大きくなっており、
1:53:30	一番左上のものっていうのは膨張で全面上昇側っていうところでここはちょっと、
1:53:36	うん。
1:53:37	ややこしいんですけど、組み合わせ評価①の最大ケースの方が、これらの5658より大きいという関係になっております。
1:53:47	うん。以上ですはいたんです。だから59ページこれ裸で使うと嘘になっちゃいませんでいう
1:53:53	二つ目のマルはね。
1:53:55	例えば、
1:53:59	各評価項目での最大は大きいんだったらいいし、
1:54:04	ほとんどで、
1:54:05	高井小何とかを除き高井なのか。
1:54:09	何か
1:54:11	わかりやすい。
1:54:12	表現かもしれないですけどちょっと嘘になってはいけませんよと。
1:54:17	ただ、
1:54:45	83ページは、
1:54:48	さっき言ったこの第2版以降の話ですけども、
1:54:52	この
1:54:53	川白の第2は移行の話の結論として書いてるところが、やっぱりこれ第一波の川白川の話しかしてなくて、
1:55:04	ちょっとね、もう少し、
1:55:11	追加記載が要るかな、要するに地震で、第4%が最大になるようなケース第2はが最大になるようなケースがあるけれども、それを考慮しても、
1:55:23	それを考慮しても、それ、それとの重ね合わせがあったとしてもやっぱり第1%だけをやっておけばいいんだっていうことですね。
1:55:32	資料の方は、
1:55:35	資料で言ってることはわかるので、
1:55:39	あとは説明を、
1:55:40	ちゃんとしてくださいという。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:55:48	すいません私なんか駆け足でこうざっとこう言いたいことを言ってしまったんですけれども、
1:55:58	何かちょっと今日具体例をかなり出しながら、こういうところの記載はしっかりと書かないと誤解を招くよとか、そういった
1:56:09	目で、
1:56:10	作った資料を、
1:56:12	上の方々に、
1:56:14	チェックしていただくとかそういうことを行って欲しいなということ言っていますので、
1:56:20	何か生かしていただけたらと思います。
1:56:40	部長の名倉です。
1:56:42	読んでいくのにもものすごく時間がかかる。
1:56:46	それがどうしてかっていうと、
1:56:49	引用している箇所って項目で挙げてるところが、
1:56:53	あってそこに飛ばしても、資料どこに書いてあるのかっていうのを探さなくちゃいけないとか、
1:56:59	ちょっとそういうがあるので、資料読み解くの2課、ものすごく時間を用意しているのもう少し。
1:57:06	今後ちょっと整理されると思いますけど全体像と、そこに、
1:57:11	ぶら下がる根拠とかの肉付けの部分のリンクをちゃんと
1:57:16	全体像がメール資料の中に落とし込んでいただき、
1:57:20	みたいな。
1:57:21	そうそうそうしないと、
1:57:22	ちょっと全体をこう俯瞰して見れないなというのがちょっとありますんでそこをちょっとお願いします。
1:57:35	北海道電力奥寺でございます。
1:57:42	今、
1:57:46	ているつもりではありますが今野部隊。
1:57:50	いろいろといただいて、
1:57:52	そういう、
1:57:56	ところも3、
1:58:00	わかりやすい。
1:58:02	概要がわかりやすい
1:58:05	詳細な
1:58:06	規定、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

1:58:10	トダテの部分。
1:58:11	リンク等は
1:58:27	はい、赤木です。ごめんなさい規制庁佐口
1:58:29	えっと、何点かちょっとだけ確認をさせて。
1:58:33	はい。
1:58:35	衛藤。
1:58:37	いくつか京谷の方から確認をさせていただいて、
1:58:44	資料が
1:58:45	やっぱりわかりづらいよねという、
1:58:48	話もありつつですね。
1:58:51	ごめんなさい。これ私が忘れていただけかもしれないんですけど、
1:58:56	まず今日青木さんのご説明で、冒頭に前回からの、
1:59:01	差分変わったところ御説明っていう話で、
1:59:05	とく、途中で名倉調整官で止められて、今どこどこから飛んでこの 70 ページとかって話になったのっていう。
1:59:15	こともありつつですね。
1:59:17	そうすると、まず、前回からの差分という、前回っていうのはいつのことか教えてもらっていいですか。
1:59:26	当北海道電力のアオキですと 8 月 23 日の面談で説明した資料からの差分という意味で今回説明させていただきました。
1:59:36	はい、規制庁佐口ですわかりました
1:59:39	あれって面談資料でしたっけというのが一つと、私ごめんなさい前回っていうのは勘違いしてて、
1:59:46	7 月の終わりのを変え、
1:59:49	ヒアリングの
1:59:50	からの差分だと。
1:59:52	と勘違いしてましたので 8 月の
1:59:55	23 日の面談の時に、これはご説明いただいたと私は理解はしていませんんですけど、この資料ともう 1 回、
2:00:04	突き合わせてじゃないんですけど、そういう形で、
2:00:07	確認をしとけばいいと。
2:00:09	いうことでよろしい
2:00:23	等、北海道電力の青木です。8 月 23 日の面談の際に資料を提出したんですけども、そこでちょっと我々からの説明してなかったのちよっ

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

	とこのあたり、事実と違ったところありましたので訂正させていただきます。
2:00:37	8月23日の提出した資料からの変更点というところで説明させていただきました。以上です。
2:00:44	はい規制庁昨日わかりましたなので、基本的には多分、今日のご説明っていうのは差分だけじゃなくて、8月23日の資料、
2:00:54	も含めた形で、多分ご説明いただかないと、全体理解できないのかなっていうのが私のごめんなさい観測になってしまうかもしれないんですけど、そこは一つ確認をさせていただきました。
2:01:06	で、内容的な話細かいことは言いません。
2:01:13	やっぱり今日ご説明があるなしっていう部分も含めてあと資料の部分で、
2:01:18	ちょっと私がざっと見た感じよくわからなかったのが、14ページ15ページで、14ページっていうのはこういうことをやりましたっていうのわかるんですけど、
2:01:28	この15ページで第2は、移行の組み合わせの評価のところ、
2:01:33	で、
2:01:34	評価の方、比嘉空ですよ。
2:01:37	比較されてること自体は、こういうことをされてるんだなとわかったんですけど、
2:01:42	これごめんなさい、以前の資料にあったかもしれないんですけど、なぜですね、敷地前面というか膨張して前面というのは比較されていないのかっていうのが、
2:01:53	少なくとも今日の資料ではなかったと思うんですけど、もう1回そこをなぜ比較していないのか。
2:02:00	ということを教えてもらっていいですか。
2:02:38	規制庁佐口です申しお答えを2に困るんなら次回のヒアリングの時でも、
2:02:44	その後、回答をご用意いただければと思います
2:02:48	あと22ページ、23ページなんですけど、やっぱりこれ私、
2:02:55	御社の判断基準が実はよくわからなくて、
2:02:58	22ページの表でいくと、
2:03:01	例えばその一番下のまとめのところに、
2:03:04	依存に及ぼす影響と水位に及ぼす影響、
2:03:08	二重丸丸三角×ってあると思うんですけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:03:12	この
2:03:13	丸とか三角。
2:03:16	バツのつけ方のその基準というのが、
2:03:19	やっぱりよくわからなくて、
2:03:22	で、
2:03:23	特にその 23 ページだと、なんて書かれて、
2:03:26	まず(1)で、
2:03:29	移送に大きな影響を与える断層パラメータっていうのが、
2:03:33	22 ページで言うと、
2:03:35	要は左の二つですね波源 1 っでされているもので、
2:03:40	これは、
2:03:43	埋葬に及ぼす影響ということで 22 ページの一番下の表の、
2:03:47	印を見ると、二重丸とかもある。
2:03:50	ということで、ああそうですかと。
2:03:52	そういうことなんですねと。
2:03:54	一方で 23 ページの(2)で、
2:03:57	今度は、
2:03:57	水、
2:04:00	に及ぼす影響っていうのが、これすべての断層パラメータってなっていて、
2:04:06	22 ページ見ると、まとめの一番下ですよこれ青字で書かれている。
2:04:11	丸々二重丸三角。
2:04:14	うん。三角って、
2:04:16	これ影響与えるって。
2:04:20	御社は評価されている。
2:04:23	であれば、(1)の
2:04:26	ピークがかさむっていうこの位挿入工期の影響を与える断層パラメータのところも、
2:04:33	なぜ三角であるアスペリティ位置が入ってこないのかっていうのもちょっとよくわからなくて、
2:04:39	もうちょっと細かい点で見ると、22 ページの、
2:04:45	これ、矩形モデル黒字モデルとアスペリティ 1 で、
2:04:49	移送に及ぼす影響ってされてますけれど、
2:04:51	これ、これ移送の影響って要はその
2:04:54	何ていうんすかね。

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:04:55	ここの絵で言うと、左右にこう
2:04:58	触れているとか、
2:05:00	ていうのが、影響が、
2:05:03	ある。
2:05:05	多分そういうことでいいのかなって見ると、
2:05:09	いや、
2:05:09	k文字モデルとか、クロズミモデルって、
2:05:12	例えばそのピークの位置で見ていくとこれ、例えば1分ぐらい
2:05:16	まあ、どっちかに動いてます。
2:05:18	で見ると、
2:05:20	アスペリティ位置ですね、これもピークの位置見ると、
2:05:24	何か1分ぐらい。
2:05:25	動いても
2:05:27	なぜこれが、
2:05:29	算モデル黒字モデルの方は、
2:05:33	0で、
2:05:34	アスペリティ1の方は三角で、今日は知事
2:05:39	っていう金佐賀よくわからん。
2:05:43	なので、そうやって見ていくと、ちょっと何か22ページと23ページの関係も、
2:05:49	うん。どうかな、よくわからないなと私は少なくともそういう、
2:05:54	ふうに、
2:05:55	資料を見てて、感じたんですけど。
2:05:58	やっぱりここの、
2:06:00	二重マル、マルですね、22ページ、20〇〇三角×、これの、
2:06:06	定義というか、とらえているよ。
2:06:08	ちょっと教えてもらってもいいですか。
2:06:13	電力オクデラでございます
2:06:15	クライテリアは定性的なもの。
2:06:20	ここに書いて
2:06:23	ここ採用する採用しないっていうところに
2:06:27	②〇〇三角×というふうに単純に
2:06:33	消して
2:06:35	考慮したい。
2:06:37	内容というものをどう考えたらっていうところを整理する際に、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。  
発音者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

2:06:42	このようなやり方が良いというところを、
2:06:46	うまく表現できてない無、表記上矛盾が出ているということもごさいますので、
2:06:54	素行が今やっ
2:06:56	ているものの順番の重要性等、
2:07:01	表現できるように、
2:07:04	記載を、
2:07:06	考えたいと。
2:07:08	以上です
2:07:10	はい。規制庁佐口
2:07:11	アノやっぱりここ重要なところなので最初のところはですね、説明の概要であったりとか、そういうところなのでそこはやっぱりきちんとですね、もう
2:07:21	第三者的に見てもですね、わかるような形でそこをお願いしたいと。
2:07:27	います。あとですね、これはもうすごいなんか、
2:07:31	うん。あんまりどうでもいいことかもしれないんですけど、25 ページ以降で、
2:07:39	赤の、
2:07:41	破線というか点線がありますよね。
2:07:44	これって、
2:07:45	どういう意味なのかなと思ってですね。
2:07:47	何か少なくとも 25 ページは、
2:07:50	この赤の点線、例えば、結局これって、ここのページっていうのは、何が書かれてるかっていうと、
2:07:58	検討対象波源
2:08:01	令和ペ。
2:08:03	そうすると、
2:08:04	一番左の一番、
2:08:06	上が何か黄色のハッチングがかかるのかなとか、例えば 29 ページとか後ろを見ていくとですよ。
2:08:16	そういうちょっと体裁的な話ですけど、
2:08:20	何を。
2:08:21	このページ、この 25 ページとか 26 ページ 27 ページですっといきますけど、
2:08:26	示したいのかというのと、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。



2:08:28	ちょっと図、図表の対応が本当に合ってるかどうかというの、
2:08:33	ちょっと確認をしていただきたいと思う
2:08:36	これは別に単なるコメントです
2:08:38	そこはよろしくお願ひします
2:08:42	北海道電力の青木です。衛藤 1 点と 25 ページの①検討対象波源というところ。
2:08:51	正しくは黄色ハッチングすべきところ聾ハッチング漏れだと思ひますのでそこは訂正したいと思ひます。それとは別に、このフローと右下の表だとかそういった関係性っていうところ。
2:09:03	ちゃんと考え。
2:09:04	あなたの資料か。
2:09:06	した方が良くというところかと思ひますそこは検討したいと考えております。以上です。
2:09:26	はいそれでは今日のヒアリングを終わりにしたいと思ひます。どうもお疲れ様でした。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。